
秩父地域の地質に関する論文リスト

(地帯・分野別，刊行年代・著者 ABC 順)

令和 3 (2021) 年 9 月

秩父まるごとジオパーク推進協議会

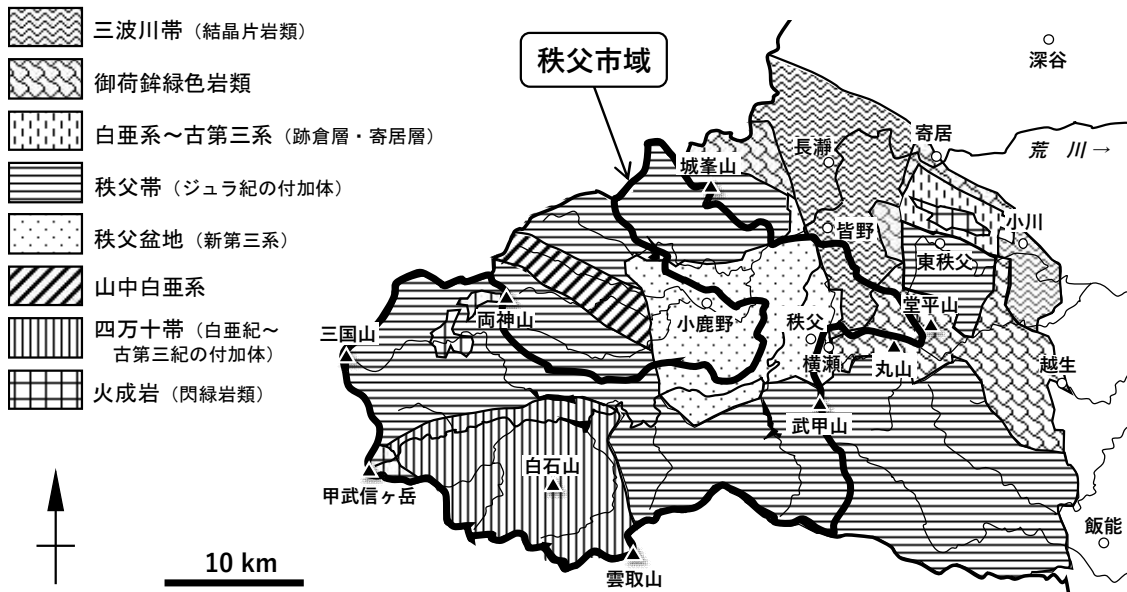
保全計画部会

目 次





関東山地北東部の地帯構造区分, 地層・岩石の特徴および年代	1
地質年代層序表	2
1 地質研究史に関するもの	3
2 地層・層序に関するもの	
(1) 広域地質・巡検・ジオパーク等	3
(2) 秩父帯の地質・層序	5
(3) 三波川帯の地質・層序	9
(4) 四万十帯の地質・層序	13
(5) 山中「地溝帯」の白亜系・層序	14
(6) 秩父盆地の新第三系・層序	16
(7) 秩父盆地の第四系・層序	20
3 岩石・鉱物・鉱床・鉱泉・地下水・地震・地すべり等に関するもの	
(1) 岩石	22
(2) 鉱物	23
(3) 鉱床	24
(4) 鉱泉・地下水等	24
(5) 地震	25
(6) 地すべり等	25
4 古生物に関するもの	
(1) 脊椎動物 (ほ乳類) 化石	25
(2) 脊椎動物 (鳥類) 化石	27
(3) 脊椎動物 (は虫類) 化石	27
(4) 脊椎動物 (魚類) 化石	27
(5) 無脊椎動物 (貝) 化石	28
(6) 無脊椎動物 (有孔虫) 化石	30
(7) 無脊椎動物 (放散虫) 化石	31
(8) 無脊椎動物 (石灰質ナンノ) 化石	32
(9) 無脊椎動物 (甲殻類) 化石	32
(10) 無脊椎動物 (サンゴ) 化石	32
(11) 無脊椎動物 (頭足類) 化石	32
(12) 無脊椎動物 (棘皮動物) 化石	33
(13) 生痕化石	33
(14) 植物化石	34



■ 関東山地北東部の地帯構造区分、地層・岩石の特徴および年代

秩父地域が位置する関東山地北東部には、ほぼ北から南へ、三波川帯（結晶片岩類）、御荷鉢緑色岩類、白亜系～古第三系（北方からの押しつぶせ地塊）、秩父帯（北帯）、山中白亜系および秩父盆地（新第三系）、秩父帯（南帯）、四万十帯が分布している。中・古生界からなる地帯はおおよそ北西—南東方向にのび、奥秩父には火成岩もみられる。以下、秩父地域の地質に関する論文を、地帯・分野別、刊行年代・著者 ABC 順に整理した。



関東山地北東部の地帯構造区分

- 
三波川帯(結晶片岩類)
 白亜紀の付加体が約7000万年前に変成してできた低温・高圧型の広域変成岩(結晶片岩など)
- 
御荷鉢(みかぶ)緑色岩類
 火山島や海台などをつくる緑色岩(変質した玄武岩質海底火山噴出物)からなるジュラ紀の付加体が弱く変成
- 
白亜系～古第三系(跡倉層・寄居層)
 花崗岩・ホルンフェルス・角閃岩・酸性岩・礫岩「などからなる押しつぶせ地塊
- 
秩父帯(ジュラ紀の付加体)
 緑色岩・石灰岩・チャート・砂岩・泥岩などからなるジュラ紀の付加体(秩父盆地を境に北帯・南帯に分けられる)

- 
秩父盆地(新第三系)
 1700～1500万年前に古秩父湾に堆積した浅～深海性堆積物で、礫岩・砂岩・泥岩などからなる
- 
山中(さんちゅう)白亜系
 秩父帯の大陸棚に堆積した浅海性堆積物で、礫岩・砂岩・泥岩などからなる
- 
四万十(しまんと)帯(白亜紀～古第三紀の付加体)
 緑色岩・石灰岩・チャート・砂岩・泥岩などからなる白亜紀～古第三紀の付加体
- 
火成岩(閃緑岩類)
 奥秩父県境付近の花崗閃緑岩(約1100万年前)や、両神山付近に小岩体に分かれて分布し接触交代鉱床(秩父鉱山)をつくった秩父トータル岩(約600万年前)

■ 地質年代層序表

国際層序委員会（2021年5月）をもとに日本地質学会作成（石炭紀以降を抜粋）

(累)界/代	系/代	統/世	階/期	GSSP	年代/	(累)界/代	系/代	統/世	階/期	GSSP	年代/
					百万年前						百万年前
顕生(累)界/代	新生界/代	第四系/紀	完新統/世	メガラヤン	現在	中生界/代	中生系/紀	上部/後期	チトニアン		152.1 ± 0.9
			ノースグリッピアン	0.0042	キンメリジアン					157.3 ± 1.0	
			グリニンランディアン	0.0117	オックスフォードIAN				163.5 ± 1.0		
			上部/後期	0.129	バトニアン				166.1 ± 1.2		
		更新統/世	チバニアン	0.774	パッジョシアン				168.3 ± 1.3		
			カラブリアン	1.80	アーレニアン				170.3 ± 1.4		
		新第三系/紀	鮮新統/世	ピアセンジアン	3.600			トアルシアン		174.1 ± 1.0	
				ザンクリアン	5.333			プリンスバッキアン		182.7 ± 0.7	
			中新統/世	メッシニアン	7.246			シネムーリアン		190.8 ± 1.0	
				トートニアン	11.63			ヘッタンギアン		199.3 ± 0.3	
	サーラバリアン			13.82	レーティアン		201.3 ± 0.2				
	ランギアン			15.97			~ 208.5				
	バーディガリアン			20.44	ノーリアン		~ 227				
	アキタニアン			23.03	カーニアン		~ 237				
	漸新統/世		チャッティアン	27.82	ラディニアン		~ 242				
			ルペリアン	33.9	アニシアン		247.2				
	古第三系/紀	始新統/世	ブリアボニアン	37.8	オレネキアン		251.2				
			パートニアン	41.2	インドゥアン		251.902 ± 0.024				
			ルテシアン	47.8	チャンシンジアン		254.14 ± 0.07				
			ヤブレシアン	56.0	ウーチャーピンジアン		259.1 ± 0.5				
		暁新統/世	サネティアン	59.2	キャピタニアン		265.1 ± 0.4				
			セランディアン	61.6	ウオーディアン		268.8 ± 0.5				
		中生界/代	白亜系/紀	上部/後期	ダニアン	66.0	グアダルピアン		272.95 ± 0.11		
					マーストリヒチアン	72.1 ± 0.2	クングーリアン		283.5 ± 0.6		
				下部/前期	カンパニアン	83.6 ± 0.2	アーティンスキアン		290.1 ± 0.26		
					サントニアン	86.3 ± 0.5	サクマーリアン		293.52 ± 0.17		
	コニアシアン				89.8 ± 0.3	アッセリアン		298.9 ± 0.15			
	チューロニアン				93.9	グゼリアン		303.7 ± 0.1			
	セノマニアン				100.5	カシモビアン		307.0 ± 0.1			
	アルビアン				~ 113.0	モスコビアン		315.2 ± 0.2			
石炭系/紀	アプチアン			~ 125.0	パシキーリアン		323.2 ± 0.4				
	パレミアン			~ 129.4	サーブコビアン		330.9 ± 0.2				
	オーテリビアン	~ 132.6	ビゼーアン		346.7 ± 0.4						
	バラングニアン	~ 139.8	トルネーシアン		358.9 ± 0.4						
	ペリアシアン	~ 145.0									

※GSSP (Global Boundary Stratotype Section and Point: 国際境界模式層断面とポイント) は、地質年代(地質時代ともいう)やその時代を区分する基準となるポイントを示す。すなわち、年代層序区分の最小単位である階(Stage)の下限を定める境界模式層を意味し、各 GSSP が世界で一つずつ定められている。最新の命名はチバニアン階/期。

1 地質研究史に関するもの

- 日本地質学会 (1926) 第3回汎太平洋学術会議日程. 地質学雑誌, 33巻, 473-382.
- Pan-Pacific Science Congress (1926) *Proceedings of Third Pan-Pacific Science Congress, Tokyo 1926.*
- 東京地学協会 (1928) 第3回汎太平洋学術会議の状況 (其1), (其2). 地学雑誌, 39巻, 34-47, 98-110.
- 栗谷川幸子 (1965) 関東山地の変成岩の研究史. 東横学園紀要, 35-41.
- 須藤和人・伊古田槌恵・栃原義雄・渋谷 紘 (1983) 秩父地方の地質研究史 (1) —ナウマンのことなど—. 地学教育, 36巻, 57-66.
- 須藤和人・栃原義雄・伊古田槌恵・渋谷 紘 (1983) 秩父地方の地質研究史 (2) —神保小虎博士のことなど (その1) —. 地学教育, 36巻, 203-218.
- 須藤和人・栃原義雄・伊古田槌恵・渋谷 紘 (1983) 秩父地方の地質研究史 (2) —神保小虎博士のことなど (その2) —. 地学教育, 36巻, 231-240.
- 須藤和人・西田四郎・猪山 健・渋谷 紘 (1984) 秩父地方の地質研究史 (3) —藤本治義博士のことなど (その1) —. 地学教育, 37巻, 71-91.
- 須藤和人・西田四郎・猪山 健・渋谷 紘 (1984) 秩父地方の地質研究史 (3) —藤本治義博士のことなど (その2) —. 地学教育, 37巻, 109-125.
- 本間岳史 (2007) 明治末～大正期の秩父地質巡検案内「神保小虎の日本地質学 全」1—企画展「宮沢賢治と地質学」に関連して—. 漣, 埼玉県立自然の博物館ニュースレター, 2号, 4-5.
- 本間岳史 (2007) 明治末～大正期の秩父地質巡検案内「神保小虎の日本地質学 全」2—企画展「宮沢賢治と地質学」に関連して—. 漣, 埼玉県立自然の博物館ニュースレター, 3号, 2-3.
- 矢島道子 (2007) 小藤文次郎—日本の地質学・岩石学の父—. 地球科学, 61巻, 155-159.
- 本間岳史 (2008) 「秩父始原層 其他」に詠まれた岩石・鉱物—宮沢賢治の畏友保阪嘉内の歌稿ノートから—. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 2号, 1-18.
- 加藤碩一 (2012) 温故知新・宮沢賢治と保阪嘉内の「秩父巡検」考. GSJ地質ニュース, 1巻, 293-309, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.

2 地層・層序に関するもの

(1) 広域地質・巡検・ジオパーク等

- 横山又次郎 (1893) 秩父地質巡検旅行日誌. 地学雑誌, 50巻, 51-53, 51巻, 101-107, 52巻, 157-164.

- 石原初太郎・青山長兵衛 (1895) 秩父甘楽地方地質巡検日記 (1), (2). 地質学雑誌, 2 卷, 181-190, 224, 238.
- 小川琢治 (1901) 秩父巡検所見. 地学雑誌, 13 卷, 634-639, 706-710.
- 神保小虎 (1909) 秩父甘楽地方に於て地質巡検者の観察すべき事項 (地質教授資料). 地学雑誌, 21 卷, 114-118.
- 神保小虎 (1911) 秩父甘楽に於ける五日間地質見学の要目. 地質学雑誌, 18 卷, 41-47.
- 岩崎重三 (1912) 秩父本野上付近の岩にて注意すべき事. 地質学雑誌, 19 卷, 33.
- 佐藤傳蔵 (1919) 日本に於ける地質鑛物学の修学旅行に就て. 地質学雑誌, 26, 30-41.
- 神保小虎 (1922) 秩父の地質見学 (雑報). 地質学雑誌, 29 卷, 297-299.
- 神保小虎 (1922) 秩父へ日帰り地質見学の設備 (雑報). 地質学雑誌, 29 卷, 537-539.
- 神保小虎 (1923) 東京より日返りの地質見学遊覧. 秩父岩石化石陳列所.
- Sato D. and Fujimoto H. (1926) Notes on the Geology of the Chichibu District. *Guide-Books of the Excurtions (The 3rd Pan-Pac. Sci. Cong. Tokyo, 1926) .Excurtion C-8, Chichibu.*
- 大橋良一 (1933) 秩父長瀨を中心とする地質学案内. 我等の鉱物, 2 卷, 319-326.
- 杉 健一 (1933) 秩父寄居—長瀨附近地質巡検で感じたこと. 博物学雑誌, 31 卷, 96-98.
- 藤本治義 (1949) 秩父長瀨地方の見学. 地球の科学, 4 卷, 52-60.
- 黒田吉益・新井房夫 (1949) 秩父古生層 (三峯地方) の所謂 Schalstein について (講演要旨). 地質学雑誌, 55 卷, 156-157.
- 新井重三 (1956) 長瀨付近の地質と見学の要領. 地学, 24・25 号.
- 秩父自然科学博物館編 (1971) 秩父のキャンプ生活と野外研究の手引.
- 秩父自然科学博物館編 (1972) 秩父山地の地質見学の手引.
- 秩父自然科学博物館編 (1972) ちちぶのしぜんかんさつてびき・ながとろほどさん.
- 村本達郎 (1975) 埼玉県の地形区分と名称. 埼玉大学紀要, 社会科学, 22 卷, 11-14.
- 堀口萬吉 (1980) 埼玉県の地形と地質. 埼玉縣市町村誌第 20 卷 総説編, 附図 (地質図). 埼玉県地域総合調査会編, 埼玉県教育委員会, 274-325.
- 高萩周作・長谷川寛・岡崎大二 (1981) 秩父—東京野外巡検. 平地学同好会会報, 14 号, 46-48.
- Hyodo, H. and Niitsuma, N. (1986) Tectonic rotation of the Kanto Mountains, related with the opening of the Japan Sea and collision of the Tanzawa Block since Middle Miocene. *Jour. Geomag. Geoelectr.*, vol.38, 336-348.
- 武井暁朔 (1990) 関東山地の断層系について. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 8 号, 33-42.
- 小幡喜一 (2006) 秩父札所の地学めぐり. 地学教育と科学運動, 53 号, 11-22.
- 吉川國男 (2009) 地域遺産をどう生かすか—秩父全体を博物館に—. 日本遺跡学会誌「遺跡学研究」, 6 号, 18-25.
- 本間岳史 (2010) “日本地質学発祥の地” 秩父とジオパーク—ジオサイトとジオツーリズム

- に関する一試案. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 4号, 1-24.
- 宮城 敏・本間岳史・楡井 尊・小幡喜一 (2010) 日本地質学発祥の地—秩父とジオパーク—. 日本地球惑星科学連合大会予稿集 (CD-ROM), 2010, OES005-P10.
- 本間岳史 (2011) 秩父の大地の魅力—「秩父まるごとジオパーク」へ向けたテーマとストーリーの提案—. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 5号, 13-33.
- 吉田健一・宮城 敏 (2011) 秩父盆地 多様な地質に寄り添う固有の風土. 日本地球惑星科学連合大会予稿集 (DVD), 2011, 022-P10.
- 本間岳史 (2012) 大地の守人を育むジオ学習の聖地—“ジオ”の魅力と伝統を伝える「ジオパーク秩父」が発進—. 天然ガス, No. 4, 34-45.
- 本間岳史・井上素子 (2012) 「ジオパーク秩父」の見どころと取り組み. 日本第四紀学会講演要旨集, 42, 226-227.
- 本間岳史 (2014) 画家・福沢一郎と地質学—画集『秩父山塊』から—. 地学教育と科学運動, 72号, 83-91.
- 吉田健一・宮城 敏 (2014) ジオパーク秩父と化石を使った教育. 化石研究会会誌, 46巻, 95-100.
- 本間岳史 (2015) 自然景観—両神山之図 (埼玉県小鹿野町)・荒川回流図 (同秩父市). 『新編武蔵風土記稿』を読む (255p.), 138-142.
- 本間岳史 (2017) もう一人の福沢一郎—画集「秩父山塊」にみる科学者の目. 福沢一郎記念館ニュースレター, 46号 (平成29年度前期 講演会記録), 2-11.
- 井上素子・富田貴夫 (2018) ジオパーク秩父のジオサイト再選定方針. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 12号, 12-48.

(2) 秩父帯の地質・層序

- Otuka, S. (1887) On the Geology of the Mountain-district in Chichibu and Kanra. 東京大学卒論.
- 矢部長克 (1901) 秩父古生層に就いて. 地質学雑誌, 8巻, 342-348.
- 矢部長克 (1920) 関東山地北部の地質構造 (二). 地質学雑誌, 27 (325), 187-198.
- 藤本治義 (1932) 関東山地東南部の地質学的研究. 地質学雑誌, 39巻, 430-457.
- 藤本治義 (1934) 関東山地に発達する秩父系の層序と化石に就いて. 地質学雑誌, 41巻, 336-338.
- 藤本治義 (1935) 関東山地東北部の地質学的研究. 地質学雑誌, 42巻, 137-151, 163-181.
- 藤本治義 (1935) 関東山地東北部の地質構造 (講演要旨). 地質学雑誌, 42巻, 319-320.
- 藤本治義 (1935) 関東山地の地質構造に就いて. 大塚地理学論文集, 5巻, 299-302.
- 藤本治義・大西 弘 (1936) 続関東山地東北部の地質学的研究. 地質学雑誌, 43, 30-45.
- Huzimoto, H. (1936) Stratigraphical and Paleontological Studies of the Titibu System

- of the Kwanto Mountainland, Part 1 Stratigraphy. *Sci. Rept. Tokyo Bunrika Daigaku*, Sec. C, vol. 6, 29-125.
- Huzimoto, H. (1936) Stratigraphical and Paleontological Studies of the Titibu System of the Kwanto Mountainland, Part 2, Palaeontology. *Sci. Rept. Tokyo Bunrika Daigaku*, Sec. C, vol. 2, 157-188.
- 堀越義一 (1936) 秩父古生層中の含藍閃石千枚岩.」地質学雑誌, 43 卷, 554-555.
- 小林貞一 (1947) 秩父地向斜の誕生に関する一考察. 地質学雑誌, 5377. 卷,
- 新井重三ほか (1952) 関東山地東北部叶山・二子山・白石山の石灰岩層について (講演要旨). 地質学雑誌, 58 卷, 319.
- 高岡善成 (1954) 多摩川流域の御前山層について. 東京教育大学地質学鉱物学教室研究報告, 3 号, 29-42.
- 藤本治義・小川敬三・肥田浩一 (1957) 武甲山付近の地質について. 秩父自然科学博物館研究報告, 7 号, 1-16.
- 坂上澄夫 (1958) 東京都下五日市町北方の二畳系上流統の礫岩について. 藤本治義教授還暦記念論文集, 91-97.
- 武井暁朔 (1960) 山中地溝帯から発見された二畳紀の漣痕 (短報). 地球科学, 第 40 号, 37-38.
- 秩父団体研究グループ (1961) 神流川流域の秩父古生層について. 地球科学, 57 号, 1-11.
- 石井 醇 (1962) 関東山地奥秩父中津川流域の上部古生層. 秩父自然科学博物館研究報告, 11, 1-21.
- 石井 醇 (1962) 関東山地奥秩父中津川流域の上部古生層. 秩父自然科学博物館研究報告, 11 号, 1-21.
- 石田 醇 (1962) 関東山地奥秩父中津川流域の上部古生層. 秩父自然科学博物館研究報告, 11, 1-21.
- 秩父団体研究グループ (1966) 秩父の地質 (概報). 地球科学, 68 号, 13-18.
- 埼玉第四紀研究グループ (1968) 奥秩父・三峯付近のローム層について. 埼玉大学紀要自然科学編, 4 卷, 1-8.
- 大久保雅弘・堀口萬吉 (1969) 万場地域の地質. 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図福), 地質調査所, 66p.
- 猪郷久義 (1972) 新しい示準化石—コノドント—. 地質学雑誌, 81, 142-151.
- 藤本治義・坂本 治 (1973) 関東山地北部の神山ナッペ Nappe に関する最近の観察. 秩父自然科学博物館研究報告, 17 号, 1-11.
- 井上正純 (1974) 埼玉県城峯山東方の秩父帯中に“跡倉層”の発見. 地質学雑誌, 80 卷, 193-194.
- Inoue, M. (1974) Geologic structures of the Chichibu terrain in the Kanto Mountainous land, Japan. *Jour. Fac. Sci., Univ. Tokyo, Sec. II*, vol. 19, 1-25.
- 藤本治義 (1974) 関東山地における石灰岩の分布について. 石膏と石灰, 128.

- 堀口萬吉・昼間 明・町田明夫 (1975) 埼玉の鍾乳洞, 埼玉の文化財, 埼玉県文化財保護協会, 15, 4-44.
- 松丸国照 (1977) 関東山地東北部の大霧山一登谷山上昇地塊および武甲山一有間山上昇地塊について. 埼玉大学教育学部紀要, 30 卷, 29-36.
- 滝沢 茂 (1979) 関東山地北部の秩父帯の層序. 鹿沼茂三郎教授体感記念論文集, 89-101.
- 昼間 明・堀口萬吉・町田明夫・渋谷 紘・寒河江登志朗 (1980) 秩父山地赤沢鍾乳洞の地質学的意義. 日本地質学会第 87 年学術大会講演要旨.
- 石井 醇・松川正樹 (1980) 関東山地奥秩父の大ガマタ層. 東京学芸大学紀要第 4 部門, 32 卷, 195-207.
- Sato, T., Takizawa, S., Kuwabara, T., Sashida, K., Hisada, K., Aono, H., Fuseya, M. and Arakawa, Y. (1981) Exotic nappes of probably sliding origin in the South Belt of the Kanto Mountains. *Ann. Rep. Inst. Geosci. Univ. Tsukuba*, no.7, 56-59.
- Sashida, K., Igo, H., Takigawa, S., Hisada, K. (1982) On the occurrence of Jurassic radiolarians from the Kanto Mountains, central Japan. *Ann. Rep., Inst., Geosci. Univ., tsukuba*, 8, 74-77.
- 久田健一郎 (1984) 関東山地南部芦ヶ久保一鴨沢地域の中・古生層. 地質学雑誌, 90 卷, 139-156.
- 猪郷久義・指田勝男・久田健一郎・大和田清隆 (1984) 関東山地秩父帯中・南部及び四万十帯の層相. 日本地質学会第 91 年学術大会巡検案内書, 21-38.
- 高島清行・小池敏夫 (1984) 関東山地東南部, 御前山一五日市地域の中生界の層序と地質構造. 横浜国立大学紀要, Sec. 2, no.31, 29-50.
- 保科 裕・関東山地団体研究グループ (1985) 関東山地, 城峯山周辺の中古生界. 日本地質学会第 92 年学術大会講演要旨, 168.
- Hisada, K., Kisida, Y., Sashida, K. (1986) Upper Jurassic Chart of the Hashidate Group in the Kanto Mountains, Central Japan. *Mem., Osaka Kyoiku Univ.*, Ser.3, 35, 89-94.
- 秩父地区残壁研究会 地質小委員会 (1987) 秩父武甲山総合調査報告書, 上巻, 自然編, 95-116.
- 堀口萬吉・秩父地区残壁研究会地質小委員会 (1987) 第一編 武甲山の地形と地質. 秩父武甲山総合調査報告書[上巻]自然編, 武甲山総合調査会, 55-118.
- 久田健一郎・上川容一・岸田容司郎・山際延夫 (1988) 関東山地西部の秩父帯北帯の石灰岩・チャート・頁岩の堆積年代. 大阪教育大学紀要, III, 37, 187-193.
- 石井 醇・荒木 暁 (1989) 王冠層. 東京学芸大学紀要第 4 部門, 41 卷, 183-190.
- 石井 醇・高橋 修 (1989) 関東山地奥秩父三峰付近の秩父帯一四万十帯境界. 東京学芸大学紀要第 4 部門, 41 卷, 191-199.
- Ueno, H. and Hisada, K. and Igo, H. (1990) Imbricate structure and exotic mass observed in the Ryokami area, Kanto Mountains. *Ann. Rep. Inst. Geosc., Univ. Tsukuba*, no.16,

46-49.

- 石井 醇・高橋 修・橋本京子 (1991) 秩父地方の秩父中 (古) 生層地域における地すべり地形の分布と岩質・地質構造との関係. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 9号, 31-40.
- Sashida, K. and Yatsugi, M. (1991) Note on the Middle Chichibu Belt of the Kanto Mountains, central Japan. *Ann. Rep. Inst. Geosci. Univ. Tsukuba*, no.17, 56-62.
- Hisada, K., Ueno, H. and Igo, H. (1992) Geology of the Upper Paleozoic and Mesozoic sedimentary complex of the Mt. Ryokami area in the Mountains, central Japan. *Sci. Rep. Inst. Geosci. Univ. Tsukuba, Section B*, vol.13, 127-151.
- Iijima, H., Sekine, K. and Saito, Y. (1994) Geologic age of the Kamiyoshida Unit of the Chichibu Belt, Kanto Mountains, Japan. *Bull. Nat. Sci. Mus., Tokyo, Ser. C*, vol.20, 119-131.
- 関東山地団体研究グループ (1994) 関東山地, 神流川流域の秩父帯北帯. 地球科学, 48件, 83-101.
- 松岡喜久次 (1995) 群馬県万場町の秩父累帯北帯中の所属未詳層よりジュラ紀放射虫化石の発見. 地球科学, 49巻, 346-351.
- 埼玉総会中・古生界シンポジウム世話人会 (1995) 関東山地の中・古生界の現状と課題. 地球科学, 49巻, 271-291.
- 原 英俊・久田健一郎・木村克己 (1998) イライト結晶度からみた関東山地秩父帯・四万十帯の古地温構造. 地質学雑誌, 104巻, 705-717.
- 松岡 篤・山北 聡・榊原正幸・久田健一郎 (1998) 付加体地質の観点に立った秩父ユニット区分と四国西部の地質. 地質学雑誌, 104巻, 634-653.
- 足立久男・小泉 潔・岡野裕一・石田吉明 (1999) 埼玉県王冠地域における後期中新世の火山性陥没盆地. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 17号, 13-21.
- 屋間 明 (1999) ノッチが証す鍾乳洞形成の謎—奥秩父赤沢鍾乳洞の形成期について—. 都立上野高等学校紀要, 28集, 3-14.
- Takahashi, O. (1999) Polyphase accretionary tectonics in the Jurassic to Cretaceous accretionary belts of central Japan. *Island Arc*, vol.8, 349-358.
- Takahashi, O. (2000) Tectonostratigraphic study of the Chichibu and Shimanto Belts in the Kanto Mountains, central Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol.106, 836-852.
- 関根一昭・飯島治男・長谷河初男 (2001) 関東山地の秩父累帯北帯の地質. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 19号, 31-44.
- Sekine, K. Iijima, H. and Saito, Y. (2001) Jurassic Radiolarians from the Low-grade Metamorphic Zone of the Northern Part of the Chichibu Belt in the Kanto Mountains, Central Japan. *Bull. Nat. Sci. Mus., Tokyo, Ser. C*, 101-108.
- 関東山地団体研究グループ (2002) 関東山地, ミカブ緑色岩類に累重する碎屑岩層—西御荷鉾層の起源と堆積環境—. 地球科学, 56巻, 333-346.

- 小俣新重郎 (2002) 秩父地方における長柱状石灰岩体の平面すべりとその対策. 地すべり, 39 巻, 104-110.
- Ueno, H., (2002) Internal Structure of Jurassic -Lower Cretaceous Accretionary Complex — An example of the Hamadaira Group in the Kanto Mountains, Central Japan —. *Doctral thesis of University of Tsukuba*. 134pp.
- 久田健一郎・小池敏夫・棚瀬充史・中山俊雄 (2003) 東京都奥多摩地域地質図. 東京都土木技術研究所.
- 久田健一郎・小池敏夫・棚瀬充史・中山俊雄・高島清行・伊与田紀夫・上野 光・八木信幸・原 英俊・奥澤康一・兼松 亮・堀内 悠・徳嶺庄一郎 (2003) 東京都奥多摩地域の地質. 東京都土木技術研究所年報, 333-348.
- 吉田和弘・松岡 篤 (2003) 関東山地秩父累帯両神山チャートユニットのパイルナップ構造. 地質学雑誌, 109 巻, 324-335.
- 原 英俊・久田健一郎 (2005) 関東山地三峰地域, 南部秩父帯・四万十帯付加コンプレックスの K-Ar 年代. 地質学雑誌, 111 巻, 217-223.
- Ueno, H. and Hisada, K. (2006) Slip Sense in the Southern Chichibu Belt in the Kanto Mountains, Japan: an Indicator of Plate Subduction Direction. *Jour. Geol. Soc. Thailand*, no.1, 83-90.
- 武藤 俊 (2019) 秩父市大滝北東部茂萩山周辺の南部秩父帯の地質. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 13 号, 21-32.
- 富永紘平・原 英俊・常盤哲也 (2019) 関東山地に分布する北部秩父帯付加コンプレックス柏木ユニットのジルコン U-Pb 年代. 地質調査研究報告, 70 (3), 299-314.
- Tominaga, K., Ueno, K. and Hisada, K. (2019) *Anthracoporella-Palaeoaplysina* mound in Upper Carboniferous mid-Panthalassan atoll-type carbonates in a Jurassic accretionary complex, central Japan. *Facies*, 65, 11, 1-24.
- Tominaga, K. and Hara, H. (2021) Paleogeography of Late Jurassic large-igneous-province activity in the Paleo-Pacific Ocean: Constraints from the Mikabu greenstones and Chichibu accretionary complex, Kanto Mountains, Central Japan. *Gondwana Research*, 89 177-192.

(3) 三波川帯の地質・層序

- Koto, B. (1886) A Note on Glaucophane. *Jour. Coll. Sci. Imp. Univ. Tokyo*, 1, 85-99.
- Koto, B. (1887) Geology of the south western district of Kozuke. *Graduation Thesis, Univ. Tokyo*, 106p.
- Koto, B. (1887) Some Occurrences of Piedmontite in Japan. *Jour. Coll. Sci. Imp. Univ. Tokyo*, 1, 303-312.

- Koto, B. (1887) On some Occurrences of Piedmontite-Schist in Japan. *Quarterly Jour. Geol. Soc.*, 43, 474-480.
- Koto, B. (1888) On the so-called Crystalline Schists of Chichibu The Sambagawa Series. *Jour. Coll. Sci. Imp. Univ. Tokyo*, 2, 77-141.
- 石原初太郎 (1896) 秩父結晶片岩地の河 (雑報). 地質学雑誌」3 卷, 183.
- 神保小虎 (1901) 秩父にある美しき岩の皺と断層 (雑報). 地質学雑誌, 8, 450-451.
- 岩崎重三 (1913) 秩父杉野峠輝岩. 地質学雑誌, 20 卷, 33.
- 矢部長克 (1920) 関東山地北東部の地質構造 (1), (2), (3). 地質学雑誌, 27 卷, 129-149, 187-198, 243-251.
- 矢部長克 (1921) 秩父の蛇紋岩の新産地 (雑報). 地質学雑誌, 28 卷, 384.
- 神保小虎 (1921) 長瀬附近の奇妙なる方解石脈 (雑報). 地質学雑誌, 28 卷, 468-472.
- 鈴木 醇 (1925) 本邦産紅簾片について. 地質学雑誌, 32 卷, 50-66.
- 鈴木 醇 (1932) 御荷鉾系並に角礫質輝緑凝灰岩中のアルカリ粗粒玄武岩 (予報). 岩石鉱物鉱床学雑誌, 7 卷, 205-212.
- 栗津秀幸 (1933) 武蔵国秩父結晶片岩地方研究案内 (一), (二). 我等の鉱物, 2 卷, 268-270, 288-294, 404-408.
- 栗津幸秀 (1934) 武蔵国秩父結晶片岩地方研究案内 (四) ~ (八). 我等の鉱物, 3 卷, 27-32, 73-77, 119-123, 159-163, 202-207.
- 堀越義一 (1937) 御荷鉾系集塊岩中の輝石岩. 地質学雑誌, 44 卷, 401-402.
- 堀越義一 (1937) 秩父山地御荷鉾系に見られる一変質経跡. 地質学雑誌, 45 卷, 492-493.
- 坪井誠太郎・杉 健一 (1936) 秩父産パンペリー石 Pumpellyite (本邦最初の発見) について. 地質学雑誌, 43 卷, 187-188.
- 藤本治義 (1937) 関東山地に発見した押し被せ構造. 博物学雑誌, 35 卷, 377-385.
- Fujimoto, H. (1937) The Nappe-theory with Reference to the Northeastern Part of the Kwanto Mountainland. *Sci. Rep. Tokyo Bunrika Daigaku*, sec. C, vol.6, 215-244.
- Fujimoto, H. (1938) Radiolarian Remains Discovered in a Crystalline Schist of the Sambagawa System. *Proc. Imp. Acad. Tokyo*, vol.14, 252-254.
- 藤本治義 (1939) 関東山地の長瀬系 (三波川系・御荷鉾系) に就て. 地質学雑誌, 46 卷, 117-126.
- Suzuki, J. (1939) On the Age of the Sambagawa System. *Proc. Imp. Acad. Tokyo*, vol.15, 56-59.
- 朱雀智介 (1941) 関東山地槻川上流の所謂御荷鉾式岩石に就いて. 地質学雑誌 48 卷, 62-74.
- Kobayashi, T. (1941) On the Improbability of Occurrence of the Jurassic Radiolarian Chert in the Sambagawa Group. *Proc. Imp. Acad. Tokyo*, vol.17, 199-203.
- Kojima J. (1944) On Stilpnomelane in Green-schists in Japan. *Proc. Imp. Acad. Tokyo*, vol.19, 322-328.

- 井尻正二ほか (1944) 関東山地に於ける押し被せ構造の再検討. 東京科学博物館研究報告, 1-13.
- 児島丈児 (1948) 含ステイルプノメレン緑色片岩における鉱物形成の順序 (講演要旨). 地質学雑誌, 54 卷, 108.
- 児島丈児 (1948) 黒色片岩の緑色岩化と緑色片岩の時代についての一考察 (講演要旨). 地質学雑誌, 54 卷, 109.
- 藤本治義 (1948) 長瀬系の地質時代の考察 (講演要旨). 地質学雑誌, 54 卷, 166.
- Fujimoto, H. and Yamada, J. (1949) Discovery of a Crinoid-Limestone in a Crystalline Schist of the Nagatoro System of the Kwanto Mountainland. *Proc. Imp. Acad. Japan*, vol. 25, 175-178.
- 岩崎正夫 (1949) 秩父長瀬附近の結晶片岩地域に於ける 2・3 の観察 (講演要旨). 地質学雑誌, 55 卷, 156-157.
- 近藤精造・堀福太郎 (1949) 秩父結晶片岩の岩石 Gefuge (講演要旨). 地質学雑誌 55 卷, 157.
- 藤本治義 (1950) 長瀬系 (三波川式変成岩及び御荷鉾式変成岩) の層位 (講演要旨). 地質学雑誌, 56 卷, 280.
- 近藤精造 (1952) 秩父結晶片岩の岩石構造の研究. 千葉大学文理学部紀要, 1 卷, 27-29.
- 藤本治義・渡部景隆・澤 秀生 (1953) 関東山地北部の押し被せ構造. 秩父自然科学博物館研究報告, 3 号, 1-42.
- 近藤精造 (1953) 秩父地方結晶片岩の構造 (講演要旨). 地質学雑誌, 59 卷, 340.
- 前田四郎 (1954) 関東山地東部の地質構造. 千葉大学文理学部紀要, 1 卷, 160-165.
- 竹田英夫 (1954) 三波川結晶片岩地域の片理と線構造. 地球科学, 18 卷, 10-15.
- 山口貴雄 (1955) 節理の統計学的処理 (長瀬での例), 地質学雑誌, 61 卷, 227-228.
- 新井重三・渡部景隆 (1955) 埼玉県長瀬付近における基盤の地形と地質構造との関係 (講演要旨). 地質学雑誌, 61 卷, 331.
- 都城秋穂 (1955) 三波川変成岩中の底辺制度のペリティックな片岩のなかのピラルスパイトのガーネット. 岩石鉱物鉱床学雑誌, 39 卷, 10-15.
- 渡部景隆・新井重三 (1955) 埼玉県長瀬付近における基盤の地形と地質構造との関係 (長瀬地域の地下水調査・第一報). 秩父自然科学博物館研究報告, 5 号, 9-24.
- 山口貴雄 (1955) 節理の統計処理とこれによる構造解析. No. 1, 層理面と剥離面. 地質学雑誌, 61 卷, 559-565.
- Iwasaki, M. (1956) A note on the Occurrence of the Mineral of Stilpnomelane Group in the Sambagawa Crystalline Schist Region, Japan. *Jour. of Gakugei, Tokushima Univ.*, 7, 1-17.
- 近藤精造 (1957) 秩父結晶片岩構成鉱物について (講演要旨), 地質学雑誌, 63 卷, 438-439.
- Seki, Y. (1958) Glaucophanitic Regional Metamorphism in the Kanto Mountains, Central

- Japan. *Jour. Geol. Geogr.*, vol. 29, 233-258.
- 田中耕平・坂本 治・原田一雄 (1969) 長瀬地域の変成岩(1). 秩父自然科学博物館研究報告, 19号, 15-25.
- 上田良夫・野沢 保・大貫 仁・河内洋祐 (1977) 三波川変成岩のK-Ar 年齢. 岩石鉱物鉱床学雑誌, 72 卷, 361-365.
- 中山正民・坂本恒義 (1978) 荒川沿岸長瀬におけるポットホールについて. 埼玉大学紀要, 教育学部 (数学・自然科学), 27 卷, 45-53.
- 矢島敏彦・長谷川初男・丸谷 泰 (1983) 埼玉県内の紅レン石石英片岩の分布について. 埼玉大学教育学部地球科学観測実験室研究報告, 4 卷, 1-14.
- 矢島敏夫・西田高久・西川正巳・新井 豊 (1985) 関東山地荒川中流域三波川結晶片岩変成岩類の変形の実際. 埼玉大学起要, 教育学部 (数学・自然科学), 34. 43-70.
- 橋本光男・田切美智雄・日下部和宏・増田一稔・矢野徳也 (1992) 関東山地児玉一長瀬町三波川変成域における層状帯の構造的累積による地質構造. 地質学雑誌, 98, 953 - 969.
- 西田高久・西川正巳・新井 豊・矢島敏彦 (1986) 荒川中流域長瀬付近の断層系の特徴. 日本地質学会第 93 年学術大会講演要旨, 543.
- 植村 武・金崎幸代 (1989) 長瀬変成岩の変形系列. 日本地質学会第 96 年学術大会講演要旨, 414.
- 橋本光男・田切美智雄・日下部和宏・増田一稔・矢野徳也 (1992) 関東山地児玉一長瀬町三波川変成域における層状体の構造的累積による地質構造. 地質学雑誌, 98 卷, 953-965.
- 牧本 浩・竹内圭史 (1992) 寄居地域の地質. 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 136p.
- 矢島敏彦・丸山栄子・橋詰雅明・戸ヶ崎利夫・竹森 努・富岡くみ・原 理恵 (1993) 長瀬野上に見出された三波川変成岩中の構造協会. 埼玉大学教育学部地球科学観測実験室研究報告, 7 卷, 15-21.
- Uemura, T., Nishino. S. (1994) Note on deformation facies -Nagatoro Metamorphic Rocks, Nagatoro, East Japan. *Sci. Rept. Niigata Univ.*. Ser. D, Geol. and Mineral., 9, 1-23.
- 本間岳史・町田明夫・二瓶省三・小沢良広・昼間 明・村井武文 (1997) 長瀬町教育委員会編, 長瀬町史「長瀬の自然」, 長瀬町, p3 - 77.
- 高木秀雄・新井宏嘉・宮下敦 (2016) 関東山地北部の低角度構造境界. 地質学雑誌, 122, 305-324.

(4) 四万十帯の地質・層序

- 藤本治義 (1938) 関東山地の鳥ノ巣統に就いて. 地質学雑誌, 45 卷, 478-480.
- 藤本治義 (1939) 関東山地の鳥ノ巣統に就いて. 矢部教授還暦記念論文集, 1 卷, 457-479.

- 藤本治義・河田喜代助・宮沢俊彌・森川六郎・新井房夫・高野 貞・吉田三郎・原 清文・田附治夫・間遠治孝 (1950) 奥秩父の地質学的研究. 秩父自然科学博物館研究報告, 1号, 1-28.
- 渡部景隆・新井重三・深田守作・飯島 弘・新津 誠・新藤静夫 (1958) 奥秩父大滝層群 (中生界) の地質学的研究—主に片理と層理の斜交性について. 藤本治義教授還暦記念論文集, 113-123.
- 秩父地質研究グループ (1966) 秩父演習林付近の地質. 演習林, 16号, 73-85.
- 藤本治義・鈴木道夫 (1969) 奥秩父荒川支流大洞川流域の地質. 秩父自然科学博物館研究報告, 15号, 1-18.
- 渋谷 紘 (1983) 秩父山地の火山灰層について. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 1号, 67-74.
- 清水長正 (1983) 秩父山地の化石周氷河斜面. 地理学評論, 56巻, 521-534.
- 久田健一郎 (1984) 関東山地南部芦ヶ久保—鴨沢地域の中・古生層. 地質学雑誌, 90巻, 139-156.
- 猪郷久義・指田勝男・久田健一郎・大和田清隆 (1984) 関東山地秩父帯中・南部及び四万十帯の層相. 日本地質学会第91年学術大会巡検案内書, 21-38.
- 町田瑞男 (1985) 関東山地で発見された軽石層について. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 3号, 55-57.
- Liyanage, A. N., Hisada, K., Miyano, T. and Suzuki, Y. (1989) Evidence for high pressure metamorphism in some rocks from Otaki Group of Shimanto Complex, Oku-Chichibu region, Kanto Mountains. *Abstracts, the 96th Annual Meeting of the Geological Society of Japan*, 595.
- 安田 守 (1989) 関東山地東南秩父累帯の鳥巢層群相当層—岩相と放散虫年代. 地質学雑誌, 95巻, 463-478.
- 清水長正 (1992) 周氷河斜面と更新世火山灰の分布からみた最終氷期の周氷河帯—非周氷河帯境界. 地理学評論, 65巻, 158-167.
- 高橋 修・石井 醇 (1992) 関東山地四万十帯の大滝層群—東山地四万十帯白亜系の変形過程とデュープレックス構造—. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 10号, 11-28.
- 堀口萬吉・松岡喜久次 (1994) 第一編 地形・地質編. 秩父滝沢ダム水没地域総合調査報告書, 上巻自然編, 滝沢ダム水没地域総合調査会編, 27-54.
- Iyota, N., Hisada, K., Sashida, K. and Igo, H. (1994) The Ogochi Group of the Shimanto Terrane in the Kanto Mountains, central Japan. *Sci. Rep. Inst. Geosci. Univ. Tsukuba, Sec. B*, vol. 15, 47-69.
- 町田瑞男 (1996) 関東山地荒川上流の斜面堆積物—八ヶ岳川上テフラと御岳第1テフラ—. 第四紀露頭集—日本のテフラ, 186, 日本第四紀学会.
- Hara, H. and Hisada, K. (1998) The Otaki and Ogochi Groups revised—Reconstruction of thermal structure of the Shimanto Supergroup in the Kanto Mountains, central

- Japan. *Sci. Rep. Inst. Geosci. Univ. Tsukuba, Sec. B*, vol.193-60.
- Takahashi, O. (1999) Polyphase accretionary tectonics in the Jurassic to Cretaceous accretionary belts of central Japan. *Island Arc*, vol.8, 349-358.
- Takahashi, O. (2000) Tectonostratigraphic study of the Chichibu and Shimanto Belts in the Kanto Mountains, central Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol.106, 836-852.
- 原 英俊・木村克己 (2001) 流体包有物とイライト結晶度から復元される付加体の温度圧力履歴. 月刊地球, 号外, no. 32, 168-173.
- 久田健一郎・小池敏夫・棚瀬充史・中山俊雄 (2003) 東京都奥多摩地域地質図. 東京都土木技術研究所.
- 久田健一郎・小池敏夫・棚瀬充史・中山俊雄・高島清行・伊与田紀夫・上野 光・八木信幸・原 英俊・奥澤康一・兼松 亮・堀内 悠・徳嶺庄一郎 (2003) 東京都奥多摩地域の地質. 東京都土木技術研究所年報, 333-348.
- 原 英俊・久田健一郎 (2005) 関東山地三峰地域, 南部秩父帯・四万十帯付加コンプレックスの変成年代. : 千枚岩中のイライトの K-Ar 年代. 地質学雑誌, 111 巻, 217-223.
- 原 英俊・檀原 徹・岩野英樹 (2007) 関東山地三峰地域, 四万十帯付加コンプレックスのフィッシュン・トラック年代からみた冷却過程. 地質学雑誌, 113 巻, 73-76.
- Hara, H. and Hisada, K. (2007) Tectono-metamorphic evolution of the Cretaceous Shimanto accretionary complex, central Japan. : Constraints from a fluid inclusion analysis of syn-tectonic veins. *Island Arc*, vol.16, 57-68.
- 原 英俊・上野 光・角田謙朗・久田健一郎・清水正明・竹内圭史・尾崎正紀 (2010) 三峰地域の地質. 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図幅), 独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター, 111p.

(5) 山中「地溝帯」の白亜系・層序

- Otsuka, S. (1887) A Report of the Geology of a part in Kanra and Chichibu Mtn Districts. 東京大学卒論, 77p.
- Harada, T. (1890) Die Japanischen Inseln, eine topographisch-geologische Übersicht. 126p., Kais Japan Geol. Reichsanstalt, Tokyo.
- 藤本治義 (1936) 関東山地山中地溝帯地方の地質 (講演要旨). 地質学雑誌, 43, 487-488.
- Shimizu, S. (1931) The marine lower Cretaceous deposits of Japan, with special reference to the Ammonites bearing zones. *Sci. Rep. Tohoku Imp. Univ. II*, vol.15, 1-40.
- 井尻正二 (1938) 所謂山中地溝帯の地質構造 (予報). 地質学雑誌, 45 巻, 475-476.
- 岩井四郎 (1947) 山中地溝帯東域の地質. 東京科学博物館研究報告, 19 号, 1-18.
- 杉山隆二 (1947) 山中地溝帯西淵地域の地質略記. 東京科学博物館研究報告, 19 号, 19-25.

- 矢部之男・金子史郎・赤木三郎（1955）山中地溝帯北西部の下部白亜系にかんする2, 3の事実. 地質学雑誌, 61 卷, 503-505.
- 矢部之男（1956）山中地溝帯西行の層序と化石動物群の内容. 総合研究「日本の後期中生代の研究」連絡紙, 3 号, 41-43.
- 新井房夫・武井暁朔・細矢 尚・林 信悟・高橋 洸（1958）山中地溝帯で発見された化石漣痕について. 地球科学, 40 号, 1-12.
- 林 新悟・高橋 洸（1959）山中地溝帯八幡沢の地質について. 群馬大学地質調査法演習レポート.
- 鰐淵袈裟男（1961）群馬県多野郡上野村野栗沢近傍に発達する白亜系の地質について. 埼玉大学卒論.
- 武井暁朔（1962）山中地溝帯の漣痕化石について. 秩父自然科学博物館研究報告, 11 号, 23-32, 図版 1.
- 藤原 肇（1963）山中地溝帯大日向地域の層序と構造. 埼玉大学卒論.
- 武井暁朔（1963）山中地溝帯東部白亜系の層序と構造. 地質学雑誌, 69, 130-146.
- 武井暁朔（1964）山中地溝帯東半部白亜系の地史. 秩父自然科学博物館研究報告, 12 号, 17-27.
- 滝沢文教（1964）山中地溝帯十石峠付近における層序と構造. 埼玉大学卒論.
- 武井暁朔（1965）西南日本外帯にみられる白亜紀中頃の地殻変動の性格. 地質学雑誌, 71 卷, 297-310.
- 関 陽太郎・望月宏明（1965）関東山地山中地溝帯白亜紀層砂岩の2, 3の特徴. 岩石鉱物鉱床学雑誌, 54 卷, 87-91.
- Seki, Y. and Takizawa, H. (1965) Finding of pebbles of lawsonite- and pumpellyite-bearing rocks in a lower Cretaceous formation of the Kanto mountains, central Japan. *Japan Jour. Geol. Geogr.*, vol. 36, 81-87.
- 竹内敏晴（1967）群馬・長野県境十石峠付近における山中地溝帯の地質について. 埼玉大学卒論.
- 竹内敏晴・滝沢文教・藤原 肇・武井暁朔（1969）山中地溝帯西域の白亜系（講演要旨）. 地質学雑誌, 75 卷, 90.
- 加納 博（1970）下仁田構造帯延長部の石英閃緑岩と山中地溝帯の花崗岩礫. 地質学雑誌, 76 卷, 225.
- 武井暁朔（1974）山中地溝帯白亜系中の火成岩礫, 変成岩礫, および酸性凝灰岩礫. 地質学雑誌, 81 卷, 4 号, 247-254, 第 1 図版. 第 2 図版.
- 武井暁朔（1974）山中地溝帯白亜系のパンペリー石脈を伴う緑色岩礫およびパンペリー石碎屑粒. 地球科学, 28 卷, 151-154.
- 坂 幸恭（1974）埼玉県山中地溝帯白亜系・三山層にみられる流痕（その 1, すずき川流域）. 早大教育学部学術研究（生物学・地学編）, 23 号, 9-26.

- Inoue, M. (1974) Geologic structures of the Chichibu terrain in the Kanto mountainous land, Japan. *Jour. Fac. Sci., Univ. Tokyo*, II, vol.1, 1-25.
- 新井重三・長沼幸男 (1975) 山中地溝帯東部地域における下部白亜系の堆積学的研究. 埼玉大学紀要, 教育学部 (数学・自然科学), 23 卷, 17-32.
- 武井暁朔・滝沢文教・竹内敏晴・藤原 肇 (1976) 山中地溝帯西域の白亜系. 地質学雑誌, 83 卷, 95-113.
- 松川正樹 (1977) 山中“地溝帯”東域白亜系の地質. 地質学雑誌, 83 卷, 115-126.
- 坂 幸恭・小泉 潔 (1977) 山中地溝帯白亜系, 三山層の層序と古流系—古流系復元に関する問題点. 地質学雑誌, 83 卷, 289-300.
- 武井暁朔 (1980) 山中地溝帯白亜系砂岩の供給源と堆積環境. 地質学雑誌, 86 卷, 755-759.
- Matsukawa, M. (1983) Stratigraphy and sedimentary environments of the Sanchu Cretaceous, Japan. *Memoirs of the Ehime University, Natural Science. Series D*, 9, 1-50.
- Obata, I., Matsukawa (1984) Systematic description, In Obata, I., Matsukawa, M., Tanaka, K., Kanai, Y. and Watanabe, T. (1984) Cretaceous cephalopods from the Sanchu area, Japan. *Bulletin of the National Science Museum, Series C (Geology and Paleontology)* 2, 10, 16-34.
- Takei, K. (1985) Development of Cretaceous sedimentary basin of the Sanchu Graben, Kanto Mountain, Japan. *Jour. Geosci. Osaka. City Univ.*, 28, 1-44.
- 高木秀雄・朴 容世・田中秀実・小泉雅一・板谷徹丸・坂幸恭 (1995) 関東山地, 山中地溝帯三山層中の花崗岩礫の K-Ar 年代. 地質学雑誌, 101, 648-658.
- 松川正樹・富島耕太郎 (2009) 山中白亜系の層序と堆積環境に関する Matsukawa (1983) 以後の研究の評価. 東京学芸大学紀要 自然科学系, 61, 119-144.

(6) 秩父盆地の新第三系・層序

- Brauns, D. (1881) Geology or the environs of Tokyo. *Mem. Sci. Dept., Tokyo Daigaku*.
- 吉原重康 (1902) 秩父盆地の地質. 地質学雑誌, 9 卷, 169-177.
- 矢部長克 (1927) 秩父及五日市の新第三紀層 (講演要旨). 地質学雑誌, 34 卷, 252-253.
- 早川千尋 (1930) 秩父盆地第三紀層について. 地質学雑誌, 37 卷, 285-209.
- 早川千尋 (1930) 秩父盆地第三紀層中に存する水中地. 地学雑誌, 42 卷, 342-346.
- 東京科学博物館地学部 (1942) 秩父盆地の地質について. 地球の科学, 季刊, 1 号, 21-30.
- 井尻正二・小川賢之輔・高沢松逸・和田 信 (1950) 秩父盆地の第三系. 国立科学博物館研究報告, 28 号, 1-68.
- 渡部景隆・新井重三・林 唯一 (1950) 秩父盆地第三紀層の地質学的研究. 秩父自然科学博物館研究報告, 1 号, 29-92.

- 佐藤良昭 (1955) 秩父盆地第三系中の緑色凝灰質砂岩について. 地質学雑誌, 61 卷, 347.
- 新井重三 (1956) 秩父盆地第三紀層中にみられる堆積構造の再検討. 地質学雑誌, 62 卷, 384.
- 新井重三 (1957) 秩父盆地第三紀層の堆積構造とその発展. 地質学雑誌, 63 卷, 427-428.
- 渡部景隆・新井重三・菅野三郎 (1957) 秩父盆地第三系見学案内. 日本地質学会第 64 年会
巡検案内記, 54.
- 渡部景隆・飯島治男 (1959) 秩父盆地北東隅部第千系の地質構造. 地質学雑誌, 65 卷, 606-617.
- Arai, J. (1960) The Tertiary systems of the Chichibu Basin, Saitama Prefecture, central
Japan, Part 1, Sedimentology, *Japan. Soc. Prom. Sci. Res.*, Tokyo, 1-122.
- 小林和夫・生沼 郁 (1961) 秩父盆地第三紀層の粘土鉱物組成. 地質学雑誌, 67 卷, 284-291.
- 秩父盆地団体研究グループ (1963) 秩父の地質 (概報). 地球科学, 68 号, 18-19.
- 山内靖喜・後藤広喜 (1971) 秩父盆地の新第三系に於ける古流系. 地質学雑誌, 77 卷, 37-46.
- 藤田至則・亀井成美 (1972) 秩父盆地における新第三系基底の構造. 日本地質学会第 79 年
学術大会講演要旨, 73.
- 山内靖喜 (1977) 秩父盆地の中新統内の乱堆積構造 その 1 形態. 地質学雑誌, 83 卷,
475-489.
- 山内靖喜 (1979) 秩父盆地の中新統内の乱堆積構造 その 2 古海底地形. 地質学雑誌,
85 卷, 613-625.
- 菅野三郎 (1980) 秩父盆地. 日本地方地質史「関東地方」, 92-101, 朝倉書店, 東京.
- 兵頭 浩 (1986) 秩父盆地新第三系の地質と古地磁気. 静岡大学地球科学研究報告, 12 号,
115-152.
- Hyodo, H. and Niitsuma, N. (1986) Tectonic Rotation of the Kanto Mountains, related
with the opening of the Japan Sea and collision of the Tanzawa block since Middle
Miocene. *Jour. Geomag. Geoelectr.*, vol. 38, 335-348.
- 長沼幸男・菅野三郎 (1986) 秩父盆地北縁部における子の神砂岩層の堆積について. 日本
地質学会第 93 年学術大会講演要旨, 302.
- Ueno, H. and Tanouchi, S. (1986) Paleomagnetic evidence for the timing of formation
of the Chichibu pyrometasmatic deposits, Japan. *Econ. Geology*, vol. 82, 1723-1731.
- Latt, K. M. and Sato, T. (1987) Syndepositional faulting in the Tertiary Chichibu
Basin. *Annu. Rep. Inst. Geosci., Univ. Tsukuba*, no. 13, 92-95.
- Latt, K. M. (1987) The Tertiary Chichibu Basin : its genesis and evolution. *Dr. thesis,*
inst. Geosci., Univ. Tsukuba, 266p.
- 長沼幸男・菅野三郎 (1987) 秩父盆地第三系北縁部の堆積学的研究. 日本地質学会第 94 年
学術大会講演要旨, 360.
- 高橋雅紀 (1987) 東北本州弧南部, 水上一高崎一秩父間の新第三紀テクトニクス. 日本地
質学会第 94 年学術大会講演要旨, 202.

- Yamaji, A. and Takahashi M. (1988) Estimation of relative depth of burial using vitrinite reflectance: Implications for a sedimentary basin formation by basement tilting. *Int. Jour. Coal Geol.*, vol.10, 41-50.
- 足立久男・石田吉明・柏木浩之・小泉 潔・正井信雄・小幡喜一・岡野裕一・秩父盆地新第三紀団体研究グループ (1989) 秩父盆地における中新世堆積盆地末期の造構運動について. 地学団体研究会総会シンポジウム資料集, 43, 259-260.
- 高橋雅紀 (1989) 関東西部の新第三紀テクトニクス. 月刊地球, 11 巻, 516-521.
- Latt, K. M. (1990) The Tertiary Chichibu Basin : its sedimentation and tectonic development. *Sci Rep. Inst. Geosci., Univ. Tsukuba. Sec. B*, vol.11, 23-68.
- 足立久男・石田吉明・岡野裕一・正井信雄 (1991) 関東山地頭部の秩父および五日市堆積盆地末期の問題点. 地団研専報, 38 号, フォッサマグナの隆起過程, 51-57.
- 足立久男 (1991) 関東山地における新生代の火山活動の場の変遷. 地団研専報, 38 号, フォッサマグナの隆起過程, 85-93.
- 石井 醇・高橋 修 (1991) 秩父盆地南西縁部に分布する第三系礫岩層. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 9 号, 21-29.
- 秩父盆地新第三紀団体研究グループ (1991) 秩父盆地における中新世の堆積盆地末期の造構過程 (その 1) 一層序と構造一. 地球科学, 45 巻, 245-258.
- 高橋雅紀 (1992) 中部日本の新第三紀テクトニクスにおける中新世秩父盆地の地質学的位置. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 10 号, 29-45.
- 牧本 博・竹内圭史 (1992) 寄居地域の地質. 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 136p.
- 高橋雅紀 (1993) 中新世秩父盆地の傾動運動. 石油技術協会誌, 58 巻, 314.
- 高橋 修・大湖友紀子・石井 醇・岡村三郎 (1993) 秩父盆地中新統礫岩と基盤の運動. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 11 号, 37-55.
- 秩父盆地新第三紀団体研究グループ (1994) 秩父盆地における中新世の堆積盆地末期の造構過程 (その 2). 一角礫岩層の特徴と堆積仮定一. 地球科学, 48 巻, 521-533.
- 岡野裕一・秩父盆地団体研究グループ (1994) 秩父盆地北東部の新第三系. 第 48 回地学団体研究会総会巡検案内書, 105-118.
- 高橋雅紀 (1994) 中新世秩父盆地の Syn-depositional Tectonics. 地質調査所月報, 45 巻, 296-297.
- 長沼幸男・菅野三郎 (1995) 秩父盆地西北隅の新第三系の地質一特に馬上礫岩層と白沙層との同時異相を中心として一. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 13 号, 1-11.
- 岡野裕一・秩父盆地団体研究グループ (1995) 秩父盆地新第三系の最下部層. 日本地質学会第 102 年学術大会講演要旨, 92.
- 正井信雄・石田吉明・小幡喜一・佐瀬和義 (1996) 秩父盆地新第三系最上部層, 横瀬町層群の古環境について. 日本地質学会第 103 年学術大会講演要旨, 93.

- 角田史雄 (1997) 地質と地震動. 地学双書 27, 地学団体研究会, 157p.
- 足立久男・竹越 智・岡野裕一・小幡喜一・村松敏雄・秩父盆地団体研究グループ (1998) 秩父堆積盆地における新第三系下部層のフィッシュトラック年代. 地球科学, 52 巻, 408-411.
- 秩父盆地団体研究グループ (1999) 秩父盆地に分布する新第三系最下部の層序と構造. 地球科学, 53 巻, 175-189.
- 本間岳史 (2000) 秩父盆地とその周辺地域の新第三系. 化石研究会会誌, 33 巻, 44.
- 平社定夫・石田吉明・小泉 潔・倉川 博・武藤博士・小幡喜一・三谷 豊 (2002) 秩父盆地桜井層 (中新統) のリップルマークとその形成環境. 地球科学, 56 巻, 347-358.
- 秩父盆地団体研究グループ (2003) 秩父盆地西縁における新第三系堆積盆地の発生・発達過程. 第 57 回地学団体研究会総会プログラム・講演要旨, 150.
- 秩父盆地団体研究グループ (2004) 堆積盆地の発生・発達過程の研究—秩父盆地西縁における解析—. 地球科学, 58 巻, 279-294.
- 秩父盆地団体研究グループ (2004) 秩父堆積盆地の発生・発展過程とフォッサマグナへの海域拡大. 第 58 回地学団体研究会総会プログラム・講演要旨, 32-33.
- 秩父盆地団体研究グループ (2004) 秩父堆積盆地のはじまりをたずねて. 第 58 回地学団体研究会総会巡検案内書, 58-66..
- 大平寛人・秩父盆地団体研究グループ (2006) 秩父堆積盆地北縁における新第三系下部層の FT 年代. 地球科学, 60 巻, 325-331.
- 秩父盆地団体研究グループ・足立久男・石田吉明・徐泉 潔・正井信雄・宮川武史・小幡喜一・岡野裕一・佐瀬和義 (2007) 堆積盆地発生期のなぞを追って—秩父盆地団体研究グループのあゆみ—. 地学教育と科学運動, 55 号, 24-32.
- 武井暁朔・岡野裕一 (2007) 秩父盆地の中新統から堇青石黒雲母片麻岩礫の発見. 地球科学, 61 巻, 63-65.
- 高橋正樹 (2008) 秩父盆地. 関東地方, 朝倉書店, pp. 143-152, 東京.
- 秩父盆地団体研究グループ (2008) 秩父盆地北東部における中新統堆積盆地の発生過程. 第 62 回地学団体研究会総会講演要旨集・巡検案内書, 127.
- 秩父盆地団体研究グループ (2009) 秩父堆積盆地の発生過程の研究—盆地北～北東縁における解析—. 地球科学, 63 巻, 151-166.
- 秩父盆地団体研究グループ (2011) 日本の露頭 No. 13 石間戸の不整合—秩父堆積盆地の発生. 地球科学, 65 巻, 47.
- 大平寛人・秩父盆地団体研究グループ (2011) 秩父盆地北東部に分布する中新統最下部層のジルコンフィッシュ・トラック年代. 地球科学, 65 号, 81-89.
- 入谷正人・小林健太 (2012) 秩父盆地東縁, 出牛—黒谷断層周辺の構造地質学的研究. 日本地球惑星科学連合大会予稿集 (CD-ROM), 2012, SGL44-P05.
- 秩父盆地団体研究グループ (2013) 秩父盆地発生期のなぞを追って 20 年. 地学教育と科学

運動, 69号, 99-100.

秩父盆地団体研究グループ (2014) 秩父盆地中部中新統基底の部分不整合と古環境の変化. 地球科学, 68, 55-67.

秩父盆地団体研究グループ・足立久男・吉川絢子・石田吉明・小泉 潔・正井信雄・宮川武史・小幡喜一・岡野裕一・佐瀬和義・鈴木和也・横田彰宏 (2014) 秩父盆地中部中新統既定の部分不整合と古環境の変化. 地球科学, 68 卷, 55-67.

岡野裕一 (2014) 秩父盆地北西部の牛首峠周辺に分布する礫岩層について. 第 68 回地学団体研究会総会講演要旨集・巡検案内書, 107.

秩父盆地団体研究グループ (2016) 中新統秩父堆積盆地のはじまり. 第 70 回地学団体研究会総会講演要旨集・巡検案内書, 201-212.

岡野裕一 (2016) 関東山地の隆起と秩父盆地. 第 70 回地学団体研究会総会講演要旨集・巡検案内書, 49-50..

松岡喜久次・力田正一・小幡喜一・岡野裕一 (2017) 父微盆地新第三系の最上部に花崗岩などの礫を含む礫岩の発見. 第 71 回地学団体研究会総会プログラム・講演要旨集, 98.

岡野裕一・秩父盆地団体研究グループ (2018) 秩父盆地の地史と関東山地の隆起. 地球科学, 72 卷, 143-152.

松岡喜久次・力田正一・小幡喜一・岡野裕一 (2019) 秩父盆地新第三系の最上部に花崗岩などの礫を含む礫岩塊の発見とその意義. 地球科学, 73 卷, 179-184.

(7) 秩父盆地の第四系・層序

町田 貞・井口正男 (1952) 秩父盆地の段丘地形. 地理学評論, 25 卷, 221-229.

町田 貞 (1954) 秩父盆地における段丘堆積物における砂の粒度分布について. 地理学評論, 27 卷, 35-38.

町田 貞 (1958) 段丘堆積物から見た荒川中流の河岸段丘. 藤本治義教授還暦記念論文集, 369-376.

堀口萬吉・小林 茂・守屋忠之・武井 朔・吉川國男 (1965) 秩父盆地宇根泥炭層の絶対年代—日本の第四紀層の ^{14}C 年代 XVIII. 地球科学, 78 号, 39.

皆川絢一・町田瑞男 (1971) 南関東の多摩ローム層層序. 地球科学, 25 卷, 164-176.

田中芳則 (1973) 秩父盆地の河川侵食. 日本地質学会第 80 年学術大会講演要旨.

柳田 誠・百瀬 貢・大熊良章 (1982) 荒川の河岸段丘. 駒澤大学大学院地理学研究, 12 号, 3-13.

町田瑞男・磯田亮洋 (1983) 関東平野西縁, 秩父盆地の第四紀地史. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 1 号, 51-66.

吉永秀一郎・宮寺正美 (1986) 荒川中流域における下位段丘の形成過程. 第四紀研究, 25 卷, 187-201.

- 籠瀬良明 (1990) 自然堤防の諸類形—河岸平野と水害—古今書院, 202p.
- 鈴木毅彦・早川由紀夫 (1990) 中期中新世に噴出した大町 APm テフラ群の層位と年代. 第四紀研究, 29 卷, 1-16.
- Suzuki, T. and Nakanishi, A. (1990) Rates of Decline of Fluvial Scarps in the Chichibu Basin, Japan. *Transactions, Japanese Geomorphological Union*, vol.11, 117-149.
- 清水康守・堀口萬吉 (1993) 関東平野西部の多摩ローム層について. 埼玉大学教養部紀要, 自然科学, 13 号, 93-98.
- 清水康守・堀口萬吉 (1994) 関東平野西部の多摩ローム層について. 埼玉大学紀要自然科学編, 29 卷, 107-119.
- 鈴木毅彦 (2000) 埼玉県秩父盆地に分布するテフラとその考古編年上の意義. 月刊地球, 22 卷, 687-692.
- 吉永秀一郎・小池一之 (2000) 秩父盆地周辺に分布する唐川の河成段丘. 日本の地形 4 関東・伊豆小笠原, 東大出版会, 106-109.
- 関東火山灰グループ (2001) 多摩 I ローム層の鉱物組成とテフラの対比. 地球科学, 55 卷, 49-54.
- 小幡喜一・松岡喜久次・久津間文隆・力田正一・角田史雄 (2001) 埼玉県秩父・児玉地域の高位段丘構成層の礫種対比. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 19 号, 21-30.
- 鈴木毅彦 (2008) 秩父盆地. 関東地方, 朝倉書店, 365-367, 東京.
- 坂田健太郎・中澤 努・中里 裕 (2012) 秩父盆地尾田蒔丘陵にみられる中期更新世テフラの記載岩石学的特徴. 地質調査研究報告, 63, 119-127.
- 鈴木毅彦 (2012) 北関東・東北地方南部のテフロクロノロジー 現状と展望. 第四紀研究, 51, 65-78.
- 町田瑞男 (2013) 秩父盆地尾田蒔丘陵と中編地域の火山灰層序—南関東西縁と八ヶ岳火山麓の「対比 (第 1 報)». 軽石学雑誌, 20 号, 65-77, 万国軽石学会.
- 吉田健一 (2016) 秩父盆地の地形・地質と暮らし. 第 70 回地学団体研究会総会講演要旨集・巡検案内書, 213-218.

3 岩石・鉱物・鉱床・鉱泉・地下水・地震・地すべり等に関するもの

(1) 岩石

- Koto, B. (1887) Some occurrence of Piedmontite in Jaoan. *Jour., Coll., Sci., Imp., Univ., Tokyo*, 1, 303-312.
- 鈴木 醇 (1925) 本邦産紅簾片岩について. 地質学雑誌, 32, 50-66.
- 鈴木 醇 (1932) 神流川筋柏木産礫質輝緑凝灰岩中のアルカリ粗粒玄武岩 (予報). 岩石鉱物鉱床学会誌, 7 卷, 205-212.

- Kozima, Z. (1944) On stilpnomelane in green-shists in Japam. Proc. Imp. Acad. Tokyo, 20, 322-328.
- 柴田秀賢・北村幸雄 (1944) 秩父中津峡の石英閃緑岩接触部における含紫蘇輝石岩類. 東京文理科大学地鉱教室研究報告, 1号, 87-106.
- 石井 求 (1961) 奥秩父荒川小屋附近の石英閃緑岩の接触変成作用. 地球科学, 35号, 9-16.
- 中田正隆・米谷秀雄・岡本 清 (1980) 秩父盆地北西部第三紀層中の沸石岩について. 日本地質学会第87年学術大会講演要旨, 92.
- 矢島敏彦・長谷河初男・丸谷 泰 (1983) 埼玉県内の紅レン石石英片岩の分布について. 埼玉大学教育学部地球科学観測実験室研報, 4, 1 - 14.
- Ueno, H. and Shibata, K. (1986) Radiometric ages of quartz diorite bodies related to the Chichibu pyrometasomatic deposits and their relevance to the met allogenic epoch. *Jour. Japan Assoc. Min. Petr. Econ. Geology*, vol.81, 77-82.
- 久田健一郎・新井章司 (1986) 関東山地の蛇紋岩及び白亜系含蛇紋岩礫岩の産状. 地質学雑誌, 92, 319-394.
- Takahashi, M. and Nomura, S. (1989) Paleomagnetis of the Chichibu quartz diorite: constraints on the time of lateral bending of the Kanto syntaxis. *Jour. Geomag. Geoelectr.*, vol.41, 479-489.
- Saito, K., Takahashi, M. and Onozuka, N. (1996) A K-Ar investigation of the Chichibu quartz diorite and some discussions on its cooling history. *Jour. Geomag. Geoelectr.* vol.48, 1103-1109.
- Saito, K., Kato, K. and Sugi, S. (1997) K-Ar dating studies of Ashigara and Tokuwa granodiorite bodies and plutonic geochronology in the South Fossa Magna, central Japan. *Island Arc.*, vol.6, 158-167.
- 武井暁朔・岡野裕一 (2007) 秩父盆地の中新等から堇青石黒雲母片麻岩の発見. 地球科学, 61巻, 63-65.

(2) 鉱物

- 長島 生 (1934) 秩父の鉱物 (三). 我等の鉱物, 4巻, 3.
- 桜井欽一・今吉隆治・河合貞吉 (1939) 我等の鉱物, 8巻, 263-270.
- 宮沢俊弥・徳永正之 (1950) 秩父鉱山の成因. 地質学雑誌, 56 (656), 244-255.
- 桜井欽一・藤山家徳 (1955) 秩父産鉱物目録 (その1) 秩父鉱山四近の鉱物について. 秩父自然科学博物館研究報告, 5号, 39-66.
- ~~桜井欽一・長島乙吉 (1957) 秩父産鉱物目録 (その2) 長瀬付近・秩父盆地・山中地溝帯の鉱物について. 秩父自然科学博物館研究報告, 7, 35 - 59.~~
- 桜井欽一ほか (1955) 秩父産鉱物目録 (その1) 秩父自然科学博物館研究報告, 5号, 39-66.

- 佐藤良昭 (1955) 秩父盆地赤平層 (第三系) の重鉱物組成. 地質学雑誌, 61 卷, 583-588.
- 桜井欽一・長島乙吉 (1957) 秩父産鉱物目録 (その 2) 長瀬附近・秩父盆地・山中地溝帯の鉱物について. 秩父自然科学博物館研究報告, 7 号, 35-65.
- 関 陽太郎 (1957) 関東山地東部のローソン石とその分布. 岩石鉱物鉱床学雑誌, 41 卷, 155-163.
- 関 陽太郎 (1957) 関東山地東部のパンペリー石とその分布. 岩石鉱物鉱床学雑誌, 41 卷, 227-235.
- 関 陽太郎 (1957) エピドート, パンペリー石, ローソン石の安定関係. 鈴木醇教授還暦記念論文集, 12, 307-315.
- 関 陽太郎 (1958) 関東山地東部のアルカリ角閃石とその産状. 岩石鉱物鉱床学雑誌, 42 卷, 128-135.
- 関 陽太郎・加藤千草 (1959) 関東山地東部の三波川変成岩中のエピドート. 岩石鉱物鉱床学雑誌, 43 卷, 57-63.
- 小林和夫・生沼 郁 (1961) 秩父盆地第三紀層の粘土鉱物組成. 地質学雑誌, 67 卷, 284-291.
- 関 陽太郎 (1965) 関東山地山中地溝帯下部白亜紀層の中に見出された Jadeite pyroxene. 岩石鉱物鉱床学雑誌, 43 卷, 165-168.
- Seki, Y. (1960) Notes on Rock-forming Minerals (17) Jadeite from Kanasaki (Kanegasaki) of the Kanto Mountains, Central Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 67, 101-104.
- Seki, Y. (1960) Distribution and Mineral Assemblages of Jadeite-bearing Metamorphic Rocks in Sanbagawa Metamorphic Terrains of Central Japan. *Sci. Rep. Saitama Univ. ser. B*, 3, 315-320.
- Seki, Y. (1961) Pumpellyite in Low-grade Metamorphism. *Jour. of Petrol.* Vol. 2, 407-423.
- Seki, Y. and Kuriyagawa S. (1962) Mafic and Leucocratic Rocks Associated with Serpentinite of Kanasaki, Kanto Mountains, Central Japan. *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, vol. 33, 15-31.
- Harada, K., Nagashima, K., Nakao, K. and Kato, A. (1971) Hydroxyllellstadite, a new apatite from Chichibu mine, Saitama prefecture, Japan. *American Mineralogist*, vol. 56, 1507-1518.
- 中田正隆・米谷秀雄・本間久英 (1981) 埼玉県秩父盆地第三系中の沸石. 岩石鉱物鉱床学会誌, 76 卷, 80-87.
- 本間和弘 (1984) 埼玉県中津川渦の沢. 鉱物情報, 58 号, 10-11.
- 清田 馨・松山文彦 (2001) 埼玉県秩父郡大滝村中津の eulytite. 地学研究, 49 卷, 195-200.

(3) 鉱床

- 今井直哉（1943）埼玉県秩父鉱山付近の地質概説．東京科学博物館研究報告，9号，1-7.
- 飯島英一（1952）秩父鑛山の祖先．掘進，3，秩父鉱山の歴史特集編，日室秩父鉱業所文化会，2-18.
- 飯島英一（1952）その後の秩父鑛山．掘進，3，秩父鉱山の歴史特集編，日室秩父鉱業所文化会，19-34.
- 藤本治義・宮澤俊弥・河田茂磨・浅野勝三・金田光弘（1957）奥秩父一秩父鉱山付近の地質と鉱床．日本地質学会第64年学術大会見学旅行案内，1-31.
- 小菅康寛・山田 隆（1990）秩父鉱山探訪，その3 中津鉱床．水晶，4巻，6-11.
- 井上素子（2017）埼玉県長瀬地域における自然銅の分布・産状および採鉱記録．埼玉県立自然の博物館研究報告，11，17 -34.
- 井上素子・小林まさ代（2017）平成29年度特別展「秩父鉱山～140種の鉱物のきらめき～」展示解説書．埼玉県立自然の博物館，66p.
- 井上素子（2019）国会議事堂の蛇紋岩石材産地の特定一秩父市黒谷の採掘場跡一．埼玉県立自然の博物館研究報告，13号，13-20.

（4）鉱泉・地下水等

- 森川六郎（1965）秩父盆地及び比企丘陵の鉱泉調査報告（昭和38年度調査報告）．埼玉県鉱泉調査報告，1-13，埼玉県衛生部.
- 高野一成（1967）秩父盆地の鉱泉．こぶし 秩父の自然，4号，9-13.
- 桑原正見（1969）秩父盆地の地下水．資源科学研究所彙報，72巻，33-42.
- 森川六郎（1971）秩父山地の鉱泉について．秩父自然科学博物館研究報告，16号，1-20.
- 昼間 明・久津間文隆・町田明夫・竹越 智（1985）荒川本流河道状況図（22葉）．埼玉県.
- 駒井 潔・小池美津子・武井暁朔・平社定夫・矢口裕之（1987）荒川本流の堆積物．荒川総合調査報告書1．『荒川自然』，埼玉県，1-28.

（5）地震

- 萩原幸男・大木裕子・志知龍一（1999）重力異常による関東山地「山中地溝帯」の東方延長部の推定．地学雑誌，108巻，59-64.
- 林 康裕・鈴木祥之・後藤正美（2002）2001年芸予地震における木造家屋被害の分析．日本建築学会構造系論文集，556巻，35-42.
- 志知龍一・山本明彦・工藤 健（2007）日本列島重力図1：750,000．文部省科学研究費補助金（基盤研究（B）日本列島重力データベースの構築（平成16年度～平成18年度））（仮題番号16340133），1p. 28sheets.
- 秩父市（2012）秩父市役所本庁舎及び市民会館建設基本構想.

関根一昭・本間岳史・小林健助・小幡喜一・2011年M9.0地震埼玉震害調査グループ(2014) 埼玉県秩父地域における建物被災一被害分布の特徴と旧秩父市役所の被災状況一. 地団研専報, 60号, 97-109.

(6) 地すべり等

森川六郎(1967) 登谷山塊の地辻りと地質. 埼玉大学紀要, 第5号, 197-204.

4 古生物に関するもの

(1) 脊椎動物(ほ乳類)化石

藤本治義(1936) *Stegodon orientalis shodoensis* Matsumoto? の新産地. 地質学雑誌, 43巻, 45-46.

新井重三(1953) 秩父盆地におけるデスモスチリッド *Desmostyloid* (*Cornwallius*? Sp.) の発見. 秩父自然科学博物館研究報告, 3号, 8-24.

渡辺景隆(1953) 秩父盆地における *Desmostyloid* 並に本州における *Desmostyloid* の産出層準について. 秩父自然科学博物館研究報告, 3号, 43-60.

藤本治義・坂本 治(1978) 秩父盆地第三系から発見されたパレオパラドキシア(予報). 秩父自然科学博物館研究報告, 18号, 1-10.

角田史雄・小鹿野団体研究会(1978) 秩父盆地に分布する中新統基底部一特に *Paleoparadoxia tabatai* 産出層準一の層相と層序について. 埼玉大学教養部紀要, 14号, 129-138.

坂本 治(1983) 秩父盆地産パレオパラドキシア骨格化石の産出について. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 1号, 17-26.

吉田健一(1984) 秩父盆地における *Paleoparadoxia* の古環境. 地団研専報, 28号, デスモスチルスと古環境, 73-79.

坂本 治(1987) 秩父盆地産海生哺乳類とその産出状況. 日本産海生哺乳類化石の研究, 昭和61(1986)年度文部省科学研究費補助金総合研究(A)報告書, 12-14.

坂本 治(1988) 秩父盆地北東縁部に「産出した *Paleoparadoxia* の中足骨. 日本産海生哺乳類化石の研究, 昭和62(1987)年度文部省科学研究費補助金総合研究(A)報告書, 105-106.

吉田健一(1988) 秩父盆地の鯨化石について. 日本産海生哺乳類化石の研究. 昭和62年度文部省科学研究費補助金 総合研究(A), 51-53.

吉田健一・田中憲三(1993) 秩父盆地の中新統基底部から東柱目の後肢骨化石の発見. 日本地質学会第100年学術大会講演要旨, 418.

Hasegawa, Y., Taketani Y., Taru, H., Sakamoto, O., Manabe, M., 1994. On sexual

- dimorphism in *Paleoparadoxia tabatai*. *Island Arc*, 513-521.
- 木村敏之・坂本 治・長谷川善和 (1998) 秩父盆地の中部中新統秩父町層群より産出したケトテリウム類化石. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 16号, 1-13.
- 木村敏之・坂本 治・長谷川善和 (1998) 埼玉県の中新統秩父町層群より産出したケトテリウム類化石. 日本古生物学会第147回例会講演予稿集, 67.
- Inuzuka, N., 2000. Primitive Late pliocene Desmostylian from Japan and Phylogeny of the Desmostylia. 足寄動物化石博物館紀要, 1, 91-123.
- 木村敏之・坂本 治・長谷川善和 (2000) 秩父盆地新第三系産ヒゲクジラ類化石. 化石研究会会誌, 33巻, 44-45.
- 木村敏之・坂本 治・長谷川善和 (2000) 秩父市大野原の中新統秩父町層群奈倉層よりケトテリウム類化石の産出. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 18号, 15-29.
- 坂本 治 (2000) 秩父盆地中新統産出の脊椎動物化石相. 化石研究会会誌, 33巻, 44.
- 吉田健一 (2000) 秩父市大野原産ケトテリウム類化石について. 化石研究会会誌, 33巻, 45.
- 吉田健一・木村敏之・長谷川善和 (2003) 埼玉県の中部中新統秩父町層群奈倉層より算出したケトテリウム類の一新種. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 20/21号, 1-10.
- 吉田健一・木村敏之・長谷川善和 (2003) 埼玉県秩父市の中新統秩父町層群奈倉層より算出したケトテリウム類の一新種. 日本古生物学会年会講演予稿集, 30.
- 北川博道・坂本 治・長谷川善和 (2013) 埼玉県産出のパレオパラドキシア化石について. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 7号, 15-22.
- 北川博道・坂本 治・長谷川善和 (2013) 埼玉県産パレオパラドキシア化石. 日本古生物学会例会講演予稿集, 162, 18.
- Matsui, K., Sashuda, K., Agematsu, S. and Ishiyama, T. (2017) Habitat preferences of the enigmatic Miocene tethythere *Desmostylus* and *Paleoparadoxia* (Desmostylia; Mammalia) inferred from the depositional depth of fossil occurrences in the Northwestern Pacific realm. *Paleogeography, Paleoclimatology, Paleoecology*, 471, 254-265.
- 北川博道 (2019) 秩父地域産出 *Paleoparadoxia tabatai* の骨端閉鎖状況の比較. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 13号, 1-12.
- 北川博道 (2019) 埼玉県秩父地域から2番目に発見されたパレオパラドキシア化石について. 日本古生物学会第168回例会講演予稿集, 16.
- 北川博道 (2019) 埼玉県新産パレオパラドキシア化石とパレオパラドキシアの成長. 日本古生物学会第169回例会講演予稿集, 16.
- 埼玉県教育委員会, 秩父市教育委員会, 横瀬町教育委員会, 皆野町教育委員会, 長瀬町教育委員会, 小鹿野町教育委員会編 (2020) 天然記念物 古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群 保存活用計画. 埼玉県教育委員会, 69p.

(2) 脊椎動物（鳥類）化石

- 小野慶一（1983）秩父盆地の中新統産出のカツオドリ化石．埼玉県立自然史博物館研究報告，1号，11-15.
- Ono, K. (1989) A bony toothed Bird from the Middle Miocene, Chichibu Basin, Japan. *Bull. Nat. Sci. Mus. Series C (Geology & Paleontology)*, vol.15, 33-38.
- 河部壮一郎（2016）秩父盆地中新統産カツオドリの神経解剖学．日本古生物学会第165回例会講演予稿集，25.

(3) 脊椎動物（は虫類）化石

- 坂本 治（1983）秩父盆地の中新統産出のウミガメ化石．埼玉県立自然史博物館研究報告，1号，1-10.
- 平山 廉・隅田 実（2001）埼玉県秩父市の奈倉層（中部中新統）より発見された *Syllomus aejiptiacus*（カメ目；潜頸類；ウミガメ上科；ウミガメ科）の頭骨．日本古生物学会第150回例会講演予稿集，32.

(4) 脊椎動物（魚類）化石

- 菊池芳文・高岡善成（1979）埼玉県秩父盆地第三系よりウバザメ属の鰓耙化石の発見．地質学雑誌，85巻，97-98.
- 上野輝彌・小野慶一・坂本 治（1983）秩父盆地産出中新世板鰓類化石．埼玉県立自然史博物館研究報告，1号，27-36.
- 上野輝彌・坂本 治（1984）秩父盆地中新統産出のホホジロザメ属化石とその意義．埼玉県立自然史博物館研究報告，2号，47-65.
- 上野輝彌・坂本 治（1985）秩父盆地で発見された中新世のサワラ属慮類化石．埼玉県立自然史博物館研究報告，3号，49-53.
- Uyeno, T. and Sakamoto, K. (1994) *Ranzania ogaii*, a new Miocene slender mola from Saitama, Japan (Pisces: Tetraodontiformes). *Bull. Nat. Sci. Mus. Tokyo, Ser. C*, vol.20, 109-117.
- Uyeno, T., Sakamoto, K. and Sakamoto, O. (1994) *Scomberomorus chichibu*, a new Miocene scombrid fish from Japan (Pisces, Perciformes). *Bull. Nat. Sci. Mus., Tokyo, Ser. C*, vol.20, 149-155.
- 金子正彦・藤井孝二・高山義孝・坂本 治（1997）秩父盆地中新統産の315個の歯化石にもとづくカグラザメ属 *Hexanchus* sp. の歯列解析．埼玉県立自然の博物館研究報告，15

号, 17-32.

金子正彦(1999)秩父盆地中新統産出の315個の化石にもとづくカグラザメの一種 *Hexanchus* sp. の歯列解析. 化石研究会会誌, 32 卷, 25-26.

古熊俊治(2015)埼玉県秩父市の中部中新統赤平層群から産出するハダカイワシ類の耳石化石について. 地学研究, 62 卷, 207-211.

古熊俊治(2017)中新世古秩父湾の魚類相に関する一考察. 地学研究, 64 卷, 209-217.

(5) 無脊椎動物(貝)化石

岩崎重三(1914)秩父の三角貝. 地学雑誌, 20 卷, 305 号, 394.

Yokoyama, M. (1925) Mollusca from the Tertiary basin of Chichibu. *Jour. Fac. Sci. Imp. Univ. Tokyo, Sec. II*, vol.1, 111-126.

Yokoyama, M. (1925) Mollusca from the Shiobara and Chichibu. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol.28, 353-358.

矢部長克(1926)関東山地山中地溝帯白亜紀の化石. 地球, 5 卷, 5 号, 429-438.

Yabe, H., Nagao, T. and Shimizu, S. (1926) Cretaceous Mollusca from the Sanchu-Graben in the Kanto Mountainland, Japan. *Sci. Rept. Tohoku Imp. Univ.*, 2nd ser., 9, 33-76.

早川千尋(1928)秩父盆地第三紀層産の化石に就いて. 地質学雑誌, 35 卷, 15-31.

Hujimoto, H. (1936) Stratigraphical and paleontological studies of the Titibu System of the Kwanto-mountainland, Part 2, Paleontology. *Sci. Rept. Tokyo Bunrika Daigaku, Sec. C*, vol. 2, 29-125.

Nakano, M. (1957) On the occurrence of *Psilotrionia* in the Cretaceous of the Kwanto mountainous land, Japan. *Jour. Sci. Hiroshima Univ. C*, vol.2.

Nakano, M. (1960) Stratigraphic occurrence of the Cretaceous Trigonids in the Japanese Islands and their faunal significances. *Jour. Sci. Hiroshima Univ. C*, vol.3, 215-280.

菅野三郎(1957)秩父盆地第三系産貝化石群について. 地質学雑誌, 63 卷, 428.

Kanno, S. (1957) On some new species of *Patinopecten* from the Chichibu Basin, Saitama Prefecture. *Bull. Chichibu Mus. Nat. Hist.*, no.7, 101-114.

Kanno, S. (1958) Paleogene megafossil zones in the Chichibu Basin, Saitama Prefecture, Japan. *Mem. Publ. Commen. Prof. H. Fujimoto's Sixtieth Birthday*, 304-311.

Kanno, S. (1958) New Tertiary molluscs from the Chichibu Basin, Saitama prefecture, Central Japan. *Sci. Rep. Tokyo Univ. Ed., sec. C*, vol.6, 157-229.

Kanno, S. (1960) The Tertiary system of the Chichibu Basin, Saitama Prefecture, Central Japan, Part 2, Paleontology. *Japan Soc. Prom. Sci. Res., Tokyo*, 123-396.

武井暁朔(1964)山中地溝帯白亜系から *Inoceramus* の発見. 地質学雑誌, 第70 卷, 第825

- 号, 351-352.
- Hayami, I. (1965) Lower Cretaceous marine pelecypods of Japan, Part1. Mem. Fac. Sci. Kusu Univ., 16. 221-349.
- Hayami, I. (1965) Lower Cretaceous marine pelecypods of Japan, Part2. Mem. Fac. Sci. Kusu Univ., 17. 73-150.
- Hayami, I. (1966) Lower Cretaceous marine pelecypods of Japan, Part3. Mem. Fac. Sci. Kusu Univ., 17. 151-249.
- Hirayama, K. (1973) Molluscan fauna from the Miocene Hiranita Formation, Chichibu Basin, Saitama Prefecture, Japan. *Tohoku Univ., Sci. Rep., 2nd ser., Special Volume*, no. 6, 163-177.
- Tamura, T., Kawada, S., Takeda, A., Oguri, H., Saito, T., Tsuchida, K. and Inoue, M. (1978) A find of Triassic Molluscs from the Buko Lime-stone Formation, Chichibu, Saitama Prefecture. *Proc. Japan Acad., LIV, Ser. B*, no.2, 41-44.
- Tamura, M. (1981) Triassic bivalves from the Buko limestone formation, Saitama Prefecture, Japan. *Mem. Fac. Educ. Nat. Sci. Kumamoto Univ.*, no.30, 5-18.
- 千代田厚史 (1993) 秩父盆地第三紀層の穿孔貝化石とその産出層準について. 日本地質学会第100年学術大会講演要旨, 429.
- 千代田厚史 (1994) 秩父盆地中新統の化石穿孔貝. 地学団体研究会シンポジウム要旨集, 48号, 76-77.
- Majima, R., Shibasaki, T. and Nakashima, R. (1996) First occurrence of *Mytilus tichanovitshi* Makiyama from the Miocene Chichibu Basin, central Japan. *Prof. H. Igo Commem. vol.*, 147-153.
- 正井信雄 (2000) 秩父盆地新第三系, 横瀬町層群の化石と古環境. 化石研究会会誌, 33巻, 45-46.
- 正井信雄・石田吉明・佐瀬和義・小幡喜一 (2000) 秩父盆地新第三系の最上部中新統横瀬町層群の化石と古環境. 地球科学, 54巻, 3-12.
- 一瀬めぐみ・田中均・高橋努・宮本隆実・川路芳弘 (2002) 山中地溝帯東域の下部白亜系から産出したテチス型動物群の発見とその意義. 地質学雑誌, 108, 663-6701.
- 千代田厚史 (2002) 秩父盆地北東部郷平橋周辺の地学野外実習—学校教育から生涯学習まで—. 日本地質学会第109年学術大会講演要旨, 192.
- 千代田厚史 (2004) 秩父盆地中新統子の神層基底にみられる穿孔性生物の化石棲管—生痕化石から古岩礁の可能性を探る—. 第58回地学団体研究会総会プログラム・講演要旨集, 60-61.
- 千代田厚史 (2004) 秩父盆地北東部・郷平橋周辺の地質教材の研究. 教師用研修資料, 48p., 埼玉県.
- 浅倉努・松川正樹 (2005) 埼玉県秩父盆地の新第三紀二枚貝化石群集構造の変遷と教材

化のための評価. 全国地学教育研究大会 (平成 17 年度) 日本地学教育学会全国大会 (第 59 回) 茨城大会講演予稿集, 64-65.

Kurihara, Y. (2006) Redescription of *Kaneharaia kannoi* (Masuda) (Bivalvia Veneridae) from the Miocene Chichibu Basin, Central Japan. 埼玉県立自然史博物館, 23 号, 35-39.

(6) 無脊椎動物 (有孔虫) 化石

福田 理・石和田靖章 (1950) 埼玉県秩父郡原谷村木毛産の化石有孔虫群に就いて. 秩父自然科学博物館研究報告, 1 号, 147-156.

森川六郎・河田茂磨 (1953) 秩父鉦山西方, 前門倉における紡錘虫化石について. 秩父自然科学博物館研究報告, 3 号, 61-64.

Morikawa, R. (1953) Triticites limestone found in Okuchichibu. *Sci. Rep. Saitama Univ., ser. B*, vol.1, 115-122.

Morikawa, R. (1955) Schwagerininae in the vicinity of the Shomaru Pass, eastern part of Kanto Mountainland, central Japan. *Sci. Rep. Saitama Univ., B*, vol.2, 45-114.

Morikawa, R. (1956) Fusulinids from Onagata, Kamiyoshida-mura, northern part of Kanto mountainland. *Sci. Rep. Saitama Univ., ser. B*, vol.2, 249-260.

Ujiie, H. and Iijima, H. (1959) Miocene foraminifera from the Akahira Group, Saitama Prefecture, Japan. *Bull. Chichibu Mus. Nat. Hist.* no.9, 69-94.

Ishii, A. and Takahashi, H. (1960) Fusulinids from the Upper Permian Ogamata Formation, Central Part of the Kwantou Massif. *Sci. Rep. Tokyo Kyoiku Daigaku, Sec. C*, no.7, 65-65, 205-216.

森川六郎 (1960) 関東山地北部古生層最上部の上吉田層群基底より *Parafusulina* の発見. 地質学雑誌, 66 卷, 684.

高岡善成 (1966) 関東山地の田処山・叶山・二子山・白石山に産する紡錘虫の研究. 秩父自然科学博物館研究報告, 13 号, 39-70.

Arai, J. (1967) The foraminiferal genus *Leoidocyclina* in the Tertiary deposits of the Chichibu basin, Saitama Prefecture, Japan. *Prof. Hidekata Shibata Mem. Vol.* 383-388.

Ishii, A. (1968) Fusulinids from Nakatsugawa area, Okuchichibu, Kanto-massif(1). *Bull. Tokyo Gakugei Univ. ser. 4*, vol.20, 178-196.

茨木雅子 (1981) " *Lepidocyclina* " 産出層準の浮遊性有孔虫群. 化石, 30 号, 67-72.

茨木雅子 (1981) 21. 秩父地域. 土 隆一編, 日本の新第三系の生層序及び年代層序に関する基本資料, 続編. IGCP-114, 国内ワーキンググループ, 静岡, 75.

Matsumaru, K., Mitsuo, Y. and Kishi, R. (1982) Miocene foraminifera from the Chichibu Basin and the south HIki Hill, Saitama Prefecture, Japan. *Jour. Saitama Univ.*

Fac. Educ. (Mathematics and Natural Science), vol. 31, 39-63.

八木信幸・石垣武久 (1993) 秩父盆地の新第三系秩父町層群から産出する小型有孔虫化石群集. 山梨大学教育学部研究報告, 44 号, 55-60.

(7) 無脊椎動物 (放散虫) 化石

藤本治義 (1939) 放散虫化石の研究 其一 秩父系. 地質学雑誌, 46 卷, 337.

大和田清隆・坂 幸恭 (1982) 関東山地奥多摩地方, 秩父帯の中・古生層, 予報. 第 1 回放散虫研究集会論文集, 67-80.

指田勝男・猪郷久治・猪郷久義・滝沢 茂・久田廉一郎・柴田友則・塚田邦治・西村はるみ (1982) 関東地方のジュラ系放散虫化石について. 大阪微化石研究会誌, 特別号, 5 卷, 51-66.

Furukubo, M., Tonishi, K., Sashida, K. and Igo, H. (1985) Biostratigraphy of the Middle Jurassic Radiolaria in the southern zone of the Chichibu Terrain in the Kanto Mountains, Central Japan. *Ann. Rep. Inst. Geosci. Univ. Tsukuba*, no. 11, 27-31.

久田健一郎・岸田容司郎 (1987) 関東山地秩父帯北帯の蛇木層からジュラ紀最前期の放散虫化石群の産出. 地質学雑誌, 93 卷, 521-524.

高橋 修・今井秀男・石井 醇 (1989) 関東山地大滝層群から白亜紀放散虫化石の産出. 地質学雑誌, 95 卷, 483-485.

Sashida, K. (1991) Early Triassic radiolaria from the Ogamata Formation, Kanto Mountains, central Japan. Part 2. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan, N. S.*, no. 161, 681-696.

松岡喜久次 (1995) 群馬県万場町の秩父累帯北帯中の所属未詳層よりジュラ紀放散虫化石の発見. 地球科学, 49 卷, 346-351.

松井久美子・指田勝男・上松佐知子 (2016) 中新統赤平層群秩父町層から産するジュラ紀末～白亜紀放散虫. 地質学雑誌, 122 卷, 261-266.

(8) 無脊椎動物 (石灰質ナンノ) 化石

高橋雅紀・長濱裕之・田中裕一郎 (1989) 石灰質ナンノ化石からみた秩父盆地新第三系最下部の地質年代. 化石, 46 卷, 1-9.

(9) 無脊椎動物 (甲殻類) 化石

小幡喜一・大森昌衛 (1993) 秩父盆地の子ノ神砂岩層 (下部中新統) 産の化石オオグソクムシ. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 11 号, 57-64.

- 小幡喜一 (1995) 秩父盆地子ノ神層産のコシオリエビ科 *Munida nishioi* とその古環境および地質年代. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 13 号, 13-20.
- Kato, H. (1996) Miocene Decapod crustacea from the Chichibu Basin, central Japan. *Trans. Proc. Paleont. Soc. Japan, N. S.*, no.183, 500-521.
- 小幡喜一 (1996) 秩父盆地子ノ神砂岩層産のコシオリエビ科 *Munida nishioi* とその古環境および地質年代. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 14 号, 13-20.
- 加藤久住 (2000) 秩父盆地第三系の十脚甲殻類化石. 化石研究会会誌, 33 巻, 45.
- 小幡喜一 (2006) 秩父盆地の子ノ神層 (中新統) から産出した甲殻類等脚目 *Bathynomus undecims pinosus* (ジュウイチトゲオオグソクムシ). 埼玉県立自然史博物館研究報告, 23 号, 1-9.

(10) 無脊椎動物 (サンゴ) 化石

- Nishimiya, K. and Yamagiwa, N. (1973) Coral fossils from the Kosode Formation, Yamanashi Prefecture. *Trans. Proc. Paleont. Soc. Japan, N. S.* no.89, 15-23.
- 森 隆二 (1979) 秩父盆地中新統の珊瑚について. 日本地質学会第 86 年学術大会講演要旨, 233.
- 門田真人 (2000) 秩父盆地の造礁性サンゴ類化石. 化石研究会会誌, 33 巻, 45-46.
- 門田真人 (2000) 秩父盆地の造礁性サンゴ類化石について. 日本古生物学会講演予稿集, 85.

(11) 無脊椎動物 (頭足類) 化石

- 武井暁朔 (1959) 山中地溝帯から産出した箭石について (短報). 地質学雑誌, 第 65 巻, 第 768 号, 567-568.
- 水谷徳之・小出貴博 (1983) 埼玉県秩父盆地から産出した中新世頭足類化石. 名古屋地学, 43/44, 17-23.
- 小島郁生・小川芳男・大石 徹 (2004) 秩父町層群産中新世鞘型類 (頭足綱). 深田地質研究所年報, 5 巻, 107-119.
- Matsukawa, M. (2019) Barremian ammonite fauna of the lower Ishido Formation, eastern part of the Sanchu Cretaceous, Japan. *Bulletin of Tokyo Gakugei University, Division of Natural Sciences*, 71, 129-152.

(12) 無脊椎動物 (棘皮動物) 化石

- 田中啓策・大久保雅弘 (1954) 有田層 (下部白亜系) から産出したウニについて. 地質学

雑誌, 60 卷, 705 号, 215-227.

Tanaka, K. and Shibata, M. (1961) A new species of *Aphelaster* from the lower Cretaceous of Japan. *Trans. Proc. Paleont. Soc. Japan*, N. S., no. 42, 68-72.

Tanaka, K. (1965) Cretaceous Echinoids from the Sanchu graben, central Japan. *Trans. Proc. Paleont. Soc. Japan*, N. S., no. 59, 126-142.

小幡喜一 (2009) 秩父盆地の中新統奈倉層から発見されたウニ類化石 *Echinolampas yoshiwarai* とその古環境. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 3 号, 33-40.

(13) 生痕化石

大森昌衛・石田吉明・小幡喜一・秩父盆地リップルマーク調査グループ (1992) 秩父盆地の桜井層 (中新統) 産の生痕化石群について. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 19 号, 55-69.

千代田厚史 (1994) 秩父盆地の中新統子の神砂岩層産の穿孔貝による化石棲管について. 化石研究会会誌, 26 卷, 53-60.

小幡喜一 (1998) 秩父盆地の赤平川沿いにみられる中新統の生痕化石と堆積環境. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 16 号, 23-34.

小幡喜一 (1998) 埼玉県秩父盆地の中新統から発見された生痕化石. 日本地質学会第 105 年学術大会講演要旨, 294.

小幡喜一 (1999) 埼玉県秩父市大野原付近の中新統秩父盆地層群から発見された生痕化石とそれらの古環境. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 17 号, 31-45.

小幡喜一 (2000) 秩父盆地中新統の生痕化石. 化石研究会会誌, 33 卷, 45-46.

小幡喜一 (2000) 秩父町層群 (中部中新統) の生痕化石と古環境. 化石研究会会誌, 33 卷, 78.

小幡喜一 (2000) 秩父盆地横瀬川流域の中新統から発見された生痕化石. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 18 号, 31-39.

千代田厚史 (2000) 秩父盆地及び岩殿丘陵の中新統より算出した穿孔貝の化石棲管. 化石研究会会誌, 33 卷, 47.

小幡喜一 (2001) 秩父盆地新第三系の生痕化石と堆積環境. 第 55 回地学団体研究会総会講演要旨集, 126-129.

小幡喜一 (2001) 秩父盆地新第三系の生痕化石. 第 55 回地学団体研究会総会講演要旨集, 196-197

小幡喜一 (2001) 埼玉県秩父盆地第三系産の生痕化石. 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, 275.

小幡喜一 (2004) 秩父盆地の生痕化石. 第 58 回地学団体研究会総会巡検案内書, 46-56.

小幡喜一 (2007) 秩父盆地中新統奈倉層から産出した生痕化石 *Dactyloidites otto* およ

びウニ類化石 *Echinolampas* sp.. 化石研究会会誌, 40 卷, 95-96.

小幡喜一 (2009) 秩父盆地北東部の中新統の生痕化石とそれらの古環境. 埼玉県立自然史博物館研究報告, 3 号, 11-32.

小幡喜一 (2015) 秩父盆地新第三系基底 (白久の不整合) 付近の生痕化石. 化石研究会会誌, 47 卷, 30.

(14) 植物化石

Yokoyama, M. (1895) Mesozoic Plants from Kouzuke, Kii, Awa and Tosa. *Jour. Coll. Sci., Imp. Univ. Tokyo*, vol.7, pt.3, 201-231.

Oishi, S. (1940) The Mesozoic flora of Japan. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Imp. Univ.*, ser.4, vol.5, 123-480.

Ishijima, W. (1954) Cenozoic Coralline Algae from the western Pacific. *Yuhodo*, 87p., pls.49.